

平成30年度 財政状況資料集

総括表（市町村）

都道府県名	福岡県		市町村類型	V-2		指定団体等の指定状況		区分	平成30年度(千円)	平成29年度(千円)	区分	平成30年度(千円・%)	平成29年度(千円・%)																																																																																																																																																																
						財政健全化等	×																																																																																																																																																																						
市町村名	須恵町		地方交付税種地	2-5		財源超過	×	歳入総額	8,534,849	8,841,499	実質収支比率	6.7	6.1																																																																																																																																																																
						首都	×	歳出総額	8,129,276	8,501,835	経常収支比率	86.7	86.7																																																																																																																																																																
						近畿	×	歳入歳出差引	405,573	339,664	(※1)	(91.9)	(91.8)																																																																																																																																																																
						中部	×	翌年度に繰越すべき財源	33,772	0	標準財政規模	5,552,664	5,535,790																																																																																																																																																																
人口	27年国調(人)	27,263	産業構造(※5)		低開発	×	実質収支	371,801	339,664	財政力指数	0.61	0.59																																																																																																																																																																	
	22年国調(人)	26,044			過疎	×	単年度収支	32,137	80,366	公債費負担比率	8.4	9.0																																																																																																																																																																	
	増減率(%)	4.7			山振	×	積立金	212,370	26,082	健全化判断比率																																																																																																																																																																			
住民基本台帳人口(※7)	31.01.01(人)	28,554	第1次	27年国調	125	22年国調	114	積立金取崩し額	0	2,777	実質赤字比率	-	-																																																																																																																																																																
	うち日本人(人)	28,308		1.0	1.0	指数表選定	○	実質単年度収支	244,507	103,671	連結実質赤字比率	-	-																																																																																																																																																																
	30.01.01(人)	28,084	第2次	3.178	3.021	標準財政収入額	2,816,501	2,745,535	資金不足比率(※4)																																																																																																																																																																				
	うち日本人(人)	27,858		25.8	25.8	標準財政需要額	4,468,029	4,486,284	標準財政収入額等	3,580,953	3,481,803																																																																																																																																																																		
	増減率(%)	1.7		8.996	8.554	標準税収入額等	3,580,953	3,481,803	経常経費充当一般財源等	4,870,934	4,875,958																																																																																																																																																																		
うち日本人(%)	1.6	73.1	73.2	歳入一般財源等	6,262,056	6,239,424	地方債現在高	6,803,315	6,681,394																																																																																																																																																																				
面積(km ²)	16.31						うち公的資金	6,230,009	6,058,617																																																																																																																																																																				
人口密度(人/km ²)	1,672						債務負担行為額(支出予定額)	1,158,581	878,008																																																																																																																																																																				
世帯数(世帯)	9,919						収益事業収入	-	-																																																																																																																																																																				
							土地開発基金現在高	-	-																																																																																																																																																																				
職員の状況																																																																																																																																																																													
特別職等	区分	定数	1人あたり平均給料月額(百円)	一般職員等(※6)	区分	職員数(人)	給料月額(百円)	1人あたり平均給料月額(百円)	積立金現在高	財政調整基金	2,534,788	2,322,418																																																																																																																																																																	
	市区町村長	1	8,320		一般職員	122	357,704	2,932	減債基金	283,914	283,630																																																																																																																																																																		
	副市区町村長	1	6,730		うち消防職員	-	-	-	その他特定目的基金	132,131	131,969																																																																																																																																																																		
	教育長	1	2,730		うち技能労務職員	-	-	-																																																																																																																																																																					
	議会議長	1	3,460		教育公務員	10	27,710	2,771																																																																																																																																																																					
	議会副議長	1	2,830		臨時職員	-	-	-																																																																																																																																																																					
	議会議員	12	2,640		合計	132	385,414	2,920																																																																																																																																																																					
						ラスパイレス指数	97.4																																																																																																																																																																						
<table border="0"> <tr> <td>一般会計等の一覧</td> <td>事業会計の一覧</td> <td>公営企業(法適)の一覧</td> <td>公営企業(法非適)の一覧</td> <td>関係する一部事務組合等一覧</td> <td>地方公社・第三セクター等一覧</td> </tr> <tr> <td>項番</td> <td>会計名</td> <td>項番</td> <td>会計名</td> <td>項番</td> <td>組合等名</td> <td>項番</td> <td>団体名</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>(※3)</td> </tr> <tr> <td>(1)</td> <td>一般会計</td> <td>(2)</td> <td>国民健康保険特別会計</td> <td>(4)</td> <td>水道事業会計</td> <td>(5)</td> <td>公共下水道事業特別会計</td> <td>(7)</td> <td>福岡県市町村消防団員等公務災害補償組合(一般会計)</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>(3)</td> <td>後期高齢者医療特別会計</td> <td></td> <td></td> <td>(6)</td> <td>農業集落排水事業特別会計</td> <td>(8)</td> <td>福岡県市町村職員退職手当組合(一般会計)</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>(9)</td> <td>福岡県市町村職員退職手当組合(基金特別会計)</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>(10)</td> <td>福岡県自治会館管理組合(一般会計)</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>(11)</td> <td>糟屋郡自治会館組合(一般会計)</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>(12)</td> <td>糟屋郡篠栗町外一市五町財産組合(一般会計)</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>(13)</td> <td>北筑昇華苑組合(一般会計)</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>(14)</td> <td>粕屋南部消防組合(一般会計)</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>(15)</td> <td>粕屋南部消防組合(粕屋中南部休日診療所事業特別会計)</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>(16)</td> <td>須恵町外二ヶ町清掃施設組合(一般会計)</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>														一般会計等の一覧	事業会計の一覧	公営企業(法適)の一覧	公営企業(法非適)の一覧	関係する一部事務組合等一覧	地方公社・第三セクター等一覧	項番	会計名	項番	会計名	項番	組合等名	項番	団体名						(※3)	(1)	一般会計	(2)	国民健康保険特別会計	(4)	水道事業会計	(5)	公共下水道事業特別会計	(7)	福岡県市町村消防団員等公務災害補償組合(一般会計)							(3)	後期高齢者医療特別会計			(6)	農業集落排水事業特別会計	(8)	福岡県市町村職員退職手当組合(一般会計)													(9)	福岡県市町村職員退職手当組合(基金特別会計)													(10)	福岡県自治会館管理組合(一般会計)													(11)	糟屋郡自治会館組合(一般会計)													(12)	糟屋郡篠栗町外一市五町財産組合(一般会計)													(13)	北筑昇華苑組合(一般会計)													(14)	粕屋南部消防組合(一般会計)													(15)	粕屋南部消防組合(粕屋中南部休日診療所事業特別会計)													(16)	須恵町外二ヶ町清掃施設組合(一般会計)				
一般会計等の一覧	事業会計の一覧	公営企業(法適)の一覧	公営企業(法非適)の一覧	関係する一部事務組合等一覧	地方公社・第三セクター等一覧																																																																																																																																																																								
項番	会計名	項番	会計名	項番	組合等名	項番	団体名						(※3)																																																																																																																																																																
(1)	一般会計	(2)	国民健康保険特別会計	(4)	水道事業会計	(5)	公共下水道事業特別会計	(7)	福岡県市町村消防団員等公務災害補償組合(一般会計)																																																																																																																																																																				
		(3)	後期高齢者医療特別会計			(6)	農業集落排水事業特別会計	(8)	福岡県市町村職員退職手当組合(一般会計)																																																																																																																																																																				
								(9)	福岡県市町村職員退職手当組合(基金特別会計)																																																																																																																																																																				
								(10)	福岡県自治会館管理組合(一般会計)																																																																																																																																																																				
								(11)	糟屋郡自治会館組合(一般会計)																																																																																																																																																																				
								(12)	糟屋郡篠栗町外一市五町財産組合(一般会計)																																																																																																																																																																				
								(13)	北筑昇華苑組合(一般会計)																																																																																																																																																																				
								(14)	粕屋南部消防組合(一般会計)																																																																																																																																																																				
								(15)	粕屋南部消防組合(粕屋中南部休日診療所事業特別会計)																																																																																																																																																																				
								(16)	須恵町外二ヶ町清掃施設組合(一般会計)																																																																																																																																																																				

(注釈) ※1: 経常収支比率の()内の数値は、「減収補填債(特例分)」及び「臨時財政対策債」を除いて算出したものである。
 ※2: 各会計の一覧は主な会計(10会計まで)を記載している。
 ※3: 地方公共団体が損失補填等を行っている出資法人で、健全化法の算出対象となっている団体については、「地方公社・第三セクター等」の団体名に○印を付与している。
 ※4: 資金不足比率欄には、資金が不足している会計のみ記載している。
 ※5: 産業構造の比率は、分母を就業人口総数とし、分類不能の産業を除いて算出。
 ※6: 個人情報保護の観点から、対象となる職員数が1人又は2人の場合は、「給料月額(百円)」と「1人あたり給料月額(百円)」を「アスタリスク(*)」としている。(その他、数値のない欄については、すべてハイフン(-)としている)。
 ※7: 人口については、調査対象年度の1月1日現在の住民基本台帳に記載されている人口に基づいている。

(1) 普通会計の状況 (市町村)

歳入の状況 (単位 千円・%)				
区分	決算額	構成比	経常一般財源等	構成比
地方税	3,020,574	35.4	3,020,574	57.0
地方譲与税	61,639	0.7	61,639	1.2
利子割交付金	4,134	0.0	4,134	0.1
配当割交付金	9,217	0.1	9,217	0.2
株式等譲渡所得割交付金	8,478	0.1	8,478	0.2
分離課税所得割交付金	-	-	-	-
道府県民税所得割臨時交付金	-	-	-	-
地方消費税交付金	467,859	5.5	467,859	8.8
ゴルフ場利用税交付金	-	-	-	-
特別地方消費税交付金	-	-	-	-
自動車取得税交付金	23,410	0.3	23,410	0.4
軽油引取税交付金	-	-	-	-
地方特例交付金	41,341	0.5	41,341	0.8
地方交付税	1,867,062	21.9	1,651,528	31.2
普通交付税	1,651,528	19.4	1,651,528	31.2
特別交付税	215,534	2.5	-	-
震災復興特別交付税	-	-	-	-
(一般財源計)	5,503,714	64.5	5,288,180	99.8
交通安全対策特別交付金	4,895	0.1	4,895	0.1
分担金・負担金	122,874	1.4	-	-
使用料	160,288	1.9	6,500	0.1
手数料	66,887	0.8	-	-
国庫支出金	915,473	10.7	-	-
国有提供交付金(特別区財調交付金)	-	-	-	-
都道府県支出金	594,269	7.0	-	-
財産収入	58,323	0.7	1,370	0.0
寄附金	58,530	0.7	-	-
繰入金	-	-	-	-
繰越金	339,664	4.0	-	-
諸収入	100,332	1.2	10	0.0
地方債	609,600	7.1	-	-
うち減収補填債(特例分)	-	-	-	-
うち臨時財政対策債	320,000	3.7	-	-
歳入合計	8,534,849	100.0	5,300,955	100.0

地方税の状況 (単位 千円・%)				
区分	収入済額	構成比	超過課税分	
普通税	3,020,574	100.0	49,240	
法定普通税	3,020,574	100.0	49,240	
市町村民税	1,389,996	46.0	49,240	
個人均等割	44,150	1.5	-	
所得割	1,088,412	36.0	-	
法人均等割	73,905	2.4	12,678	
法人税割	183,529	6.1	36,562	
固定資産税	1,310,729	43.4	-	
うち純固定資産税	1,291,702	42.8	-	
軽自動車税	78,215	2.6	-	
市町村たばこ税	241,634	8.0	-	
鉱産税	-	-	-	
特別土地保有税	-	-	-	
法定外普通税	-	-	-	
目的税	-	-	-	
法定目的税	-	-	-	
入湯税	-	-	-	
事業所税	-	-	-	
都市計画税	-	-	-	
水利地益税等	-	-	-	
法定外目的税	-	-	-	
旧法による税	-	-	-	
合計	3,020,574	100.0	49,240	

区分	平成30年度	平成29年度
徴収率 現・計	98.8	95.0
(%) 年	98.6	98.8
	94.2	94.2
	98.8	98.7
	95.0	94.8

公営事業等への繰出		国民健康保険事業会計の状況	
合計	1,250,173	実質収支	6,116
下水道	337,535	再差引収支	-79,003
上水道	14,525	加入世帯数(世帯)	3,642
工業用水道	-	被保険者数(人)	6,111
交通	-	被保険者	85
国民健康保険	286,743	1人当り	85
その他	611,370	保険税(料)収入額	369
		国庫支出金	-
		保険給付費	-

歳出の状況 (単位 千円・%)				
区分	決算額 (A)	構成比	(A)のうち普通建設事業費	(A)のうち充当一般財源等
議会費	104,929	1.3	-	104,929
総務費	1,237,267	15.2	37,432	1,075,160
民生費	3,241,769	39.9	1,356	1,596,730
衛生費	831,277	10.2	1,957	735,913
労働費	-	-	-	-
農林水産業費	169,835	2.1	39,258	152,166
商工費	19,960	0.2	-	19,668
土木費	551,413	6.8	181,551	486,807
消防費	360,059	4.4	10,431	345,680
教育費	1,086,189	13.4	256,238	812,852
災害復旧費	301	0.0	-	301
公債費	526,277	6.5	-	526,277
諸支出金	-	-	-	-
前年度繰上充用金	-	-	-	-
歳出合計	8,129,276	100.0	528,223	5,856,483

性質別歳出の状況 (単位 千円・%)					
区分	決算額	構成比	充当一般財源等	経常経費充当一般財源等	経常収支比率
義務的経費計	3,516,970	43.3	2,116,660	2,107,052	37.5
人件費	1,233,507	15.2	1,064,470	1,055,067	18.8
うち職員給	806,148	9.9	651,104	-	-
扶助費	1,757,186	21.6	525,913	525,708	9.4
公債費	526,277	6.5	526,277	526,277	9.4
元利償還金	526,277	6.5	526,277	526,277	9.4
うち元金	487,679	6.0	487,679	487,679	8.7
うち利子	38,598	0.5	38,598	38,598	0.7
一時借入金利子	-	-	-	-	-
その他の経費	4,083,782	50.2	3,519,387	2,763,882	49.2
物件費	1,588,281	19.5	1,257,398	1,020,705	18.2
維持補修費	67,215	0.8	65,016	54,636	1.0
補助費等	966,297	11.9	919,638	832,977	14.8
うち一部事務組合負担金	642,859	7.9	642,559	615,084	10.9
繰出金	1,235,648	15.2	1,053,530	855,564	15.2
積立金	212,816	2.6	210,280	-	-
投資・出資金・貸付金	13,525	0.2	13,525	-	-
前年度繰上充用金	-	-	-	-	-
投資的経費計	528,524	6.5	220,436	-	-
うち人件費	34,321	0.4	34,321	-	-
普通建設事業費	528,223	6.5	220,135	-	-
うち補助	211,208	2.6	4,379	-	-
うち単独	314,511	3.9	215,752	-	-
災害復旧事業費	301	0.0	301	-	-
失業対策事業費	-	-	-	-	-
歳出合計	8,129,276	100.0	5,856,483	-	-

(注釈)
 普通建設事業費の補助事業費には受託事業費のうちの補助事業費を含み、
 単独事業費には同級他団体施行事業負担金及び受託事業費のうちの単独事業費を含む。

(2) 各会計、関係団体の財政状況及び健全化判断比率（市町村）

平成30年度 福岡県須恵町

一般会計等の財政状況(単位:百万円)

会計名	歳入	歳出	形式収支	実質収支	他会計等からの繰入金	地方債現在高	備考
1 一般会計	8,535	8,129	406	372	-	6,803	
2							
3							
4							
5							
6							
7							
8							
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
16							
計 一般会計等(純計)	8,535	8,129	406	372	-	6,803	実質赤字額

※一般会計等(純計)は、各会計の相互間の繰入・繰出等の重複を控除したものであり、各会計の合計と一致しない場合がある。

公営企業会計等の財政状況(単位:百万円)

会計名	総収益(歳入)	総費用(歳出)	純損益(形式収支)	資金剰余額/不足額(実質収支)	他会計等からの繰入金	企業債(地方債)現在高	左のうち一般会計等繰入見込額	資金不足比率	備考
1 国民健康保険特別会計	3,104	3,098	6	6	287	-	-	-	
2 後期高齢者医療特別会計	350	334	16	16	94	-	-	-	
3 水道事業会計	614	542	72	434	1	1,525	3	-	法適用企業
4 公共下水道事業特別会計	1,236	1,227	9	9	287	6,789	5,384	-	法非適用企業
5 農業集落排水事業特別会計	85	82	3	3	51	416	404	-	法非適用企業
6									
7									
8									
9									
10									
11									
12									
13									
14									
15									
16									
17									
18									
19									
20									
21									
22									
23									
24									
25									
26									
27									
28									
29									
30									
31									
32									
33									
34									
35									
36									
37									
38									
39									
40									
41									
42									
43									
44									
45									
46									
47									
48									
49									
50									
51									
52									
53									
54									
55									
56									連結実質赤字額
57									
58									
59									
60									
61									
62									
63									
64									
65									
66									
67									
68									
69									
70									
71									
72									
73									
74									
75									
76									
77									
78									
79									
80									
81									
82									
計 公営企業会計等				469		8,730	5,791		

関係する一部事務組合等の財政状況(単位:百万円)

一部事務組合等名	総収益(歳入)	総費用(歳出)	純損益(形式収支)	資金剰余額/不足額(実質収支)	他会計等からの繰入金	企業債(地方債)現在高	左のうち一般会計等繰入見込額	備考
1 福岡県市町村消防団員等公務災害補償組合(一般会計)	102	101	1	1	-	-	-	
2 福岡県市町村職員退職手当組合(一般会計)	11,887	11,522	366	366	-	-	-	
3 福岡県市町村職員退職手当組合(基金特別会計)	59	59	-	-	-	-	-	
4 福岡県自治会館管理組合(一般会計)	183	170	13	13	-	-	-	
5 糟屋郡自治会館組合(一般会計)	32	31	1	1	-	-	-	
6 糟屋郡築港町外一市五町財産組合(一般会計)	141	90	51	51	-	-	-	
7 北筑昇華苑組合(一般会計)	340	275	65	65	-	34	2	
8 粕屋南部消防組合(一般会計)	2,257	2,232	25	25	-	1,565	224	
9 粕屋南部消防組合(粕屋中南部休日診療所事業特別会計)	69	49	20	20	15	-	-	
10 須恵町外二ヶ町清掃施設組合(一般会計)	1,723	1,539	184	184	-	27	6	
11 福岡県自治振興組合(一般会計)	291	277	13	13	90	-	-	
12 福岡県自治振興組合(公文書館事業特別会計)	66	66	-	-	-	-	-	
13 福岡都市圏広域行政事業組合(一般会計)	199	176	22	22	49	-	-	
14 福岡都市圏広域行政事業組合(流域連携事業特別会計)	28	28	-	-	26	-	-	
15 福岡都市圏広域行政事業組合(読経事業特別会計)	3,688	3,688	-	-	-	-	-	
16 福岡県介護保険広域連合(一般会計)	985	954	31	31	-	-	-	
17 福岡県介護保険広域連合(介護保険事業特別会計)	70,107	67,173	-	2,934	169	-	-	
18 福岡県後期高齢者医療広域連合(一般会計)	244	231	13	13	36	-	-	
19 福岡県後期高齢者医療広域連合(後期高齢者医療特別会計)	767,604	751,444	16,160	16,160	-	-	-	
20 福岡地区水道企業団	11,585	9,941	1,644	9,211	-	15,645	-	法適用企業
計 一部事務組合等				29,110		17,271	232	

地方公社・第三セクター等の経営状況及び地方公共団体の財政的支援の状況(単位:百万円)

地方公社・第三セクター等名	経常損益	純資産又は正味財産	当該団体からの出資金	当該団体からの補助金	当該団体からの貸付金	当該団体からの債務保証に係る債務残高	当該団体からの損失補償に係る債務残高	一般会計等負担見込額	備考
1									
2									
3									
4									
5									
6									
7									
8									
9									
10									
11									
12									
13									
14									
15									
16									
17									
18									
19									
20									
21									
22									
23									
24									
25									
26									
27									
28									
29									
30									
31									
32									
33									
34									
35									
36									
37									
38									
39									
40									
41									
42									
43									
44									
45									
46									
47									
48									
49									
50									
51									
52									
53									
54									
55									
56									
57									
58									
59									
60									
61									
62									
63									
64									
65									
66									
67									
68									
69									
70									
71									
72									
73									
74									
75									
76									
77									
78									
79									
80									
81									
82									
計 地方公社・第三セクター等									

※地方公共団体が①25%以上出資している法人又は②財政支援を行っている法人を記載している。

※地方公共団体財政健全化法に基づき将来負担比率の算定対象となっている法人については、○印を付与している。

公債費負担の状況

将来負担の状況

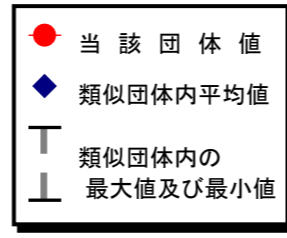
実質公債費比率 (千円・%)					将来負担比率 (千円・%)				
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	分母比	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	分母比
元利償還金	602,802	562,655	526,277	10.6	将来負担額	6,537,415	6,681,394	6,803,315	136.5
減債基金積立不足算定額	-	-	-	-	一般会計等に係る地方債の現在高	-	-	-	-
満期一括償還地方債に係る年度割相当額	-	-	-	-	債務負担行為に基づく支出予定額	-	-	-	-
公営企業債の元利償還金に対する繰入金	245,822	308,027	327,268	6.6	公営企業債等繰入見込額	5,151,767	5,430,067	5,790,930	116.2</

(3) 市町村財政比較分析表(普通会計決算)

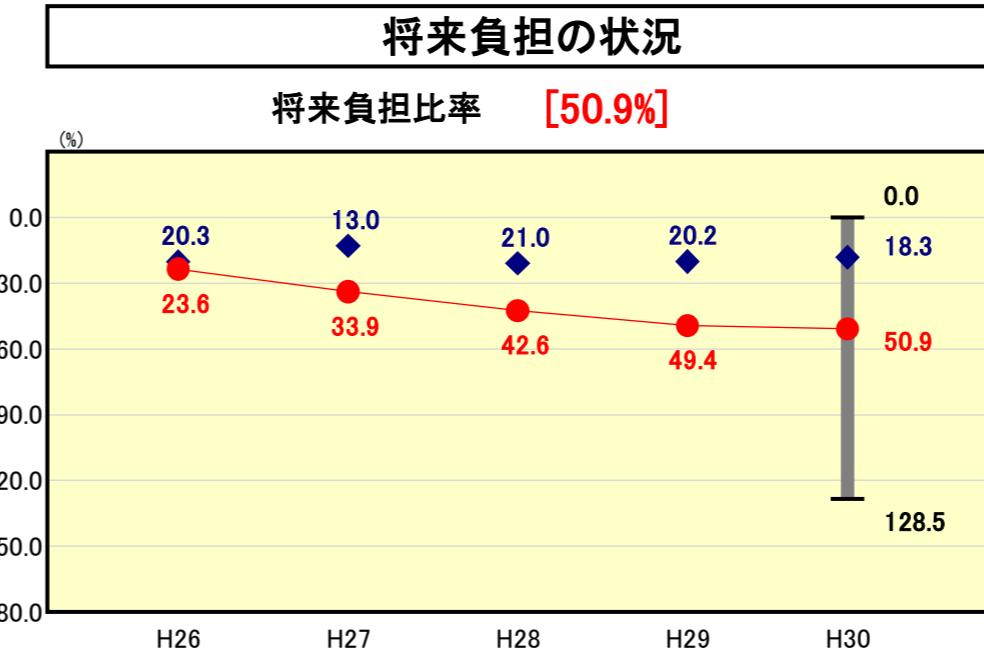
平成30年度

福岡県須恵町

人口	28,554	人(H31.1.1現在)	-	%
うち日本人	28,308	人(H31.1.1現在)	-	%
面積	16.31	k㎡		
歳入総額	8,534,849	千円	実質赤字比率	
歳出総額	8,129,276	千円	連結実質赤字比率	
実質収支	371,801	千円	実質公債費比率	7.5 %
標準財政規模	5,552,664	千円	将来負担比率	50.9 %
地方債現在高	6,803,315	千円	市町村類型	H26 V-2 H27 V-2 H28 V-2
			(年度毎)	H29 V-2 H30 V-2



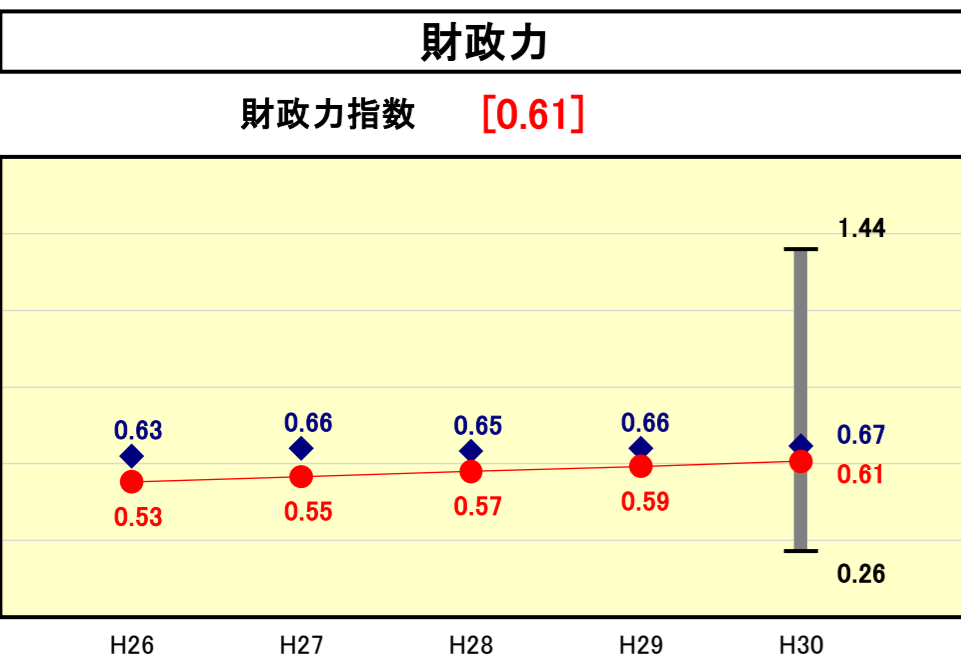
※市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。
 ※平成31年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく実質公債費比率及び将来負担比率を算出してない団体については、グラフを表記しない。
 ※充当可能財源等が将来負担額を上回っている団体については、将来負担比率のグラフを表記しない。
 ※「人件費・物件費等の状況」の決算額は、人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし、人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。
 ※人口については、各調査対象年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口に基づいている。
 ※類似団体内順位、全国平均、各都道府県平均は、平成30年度決算の状況である。また類似団体が存在しない場合、類似団体内順位を表示しない。



類似団体内順位 72/99 全国平均 28.9 福岡県平均 73.4

将来負担比率の分析欄

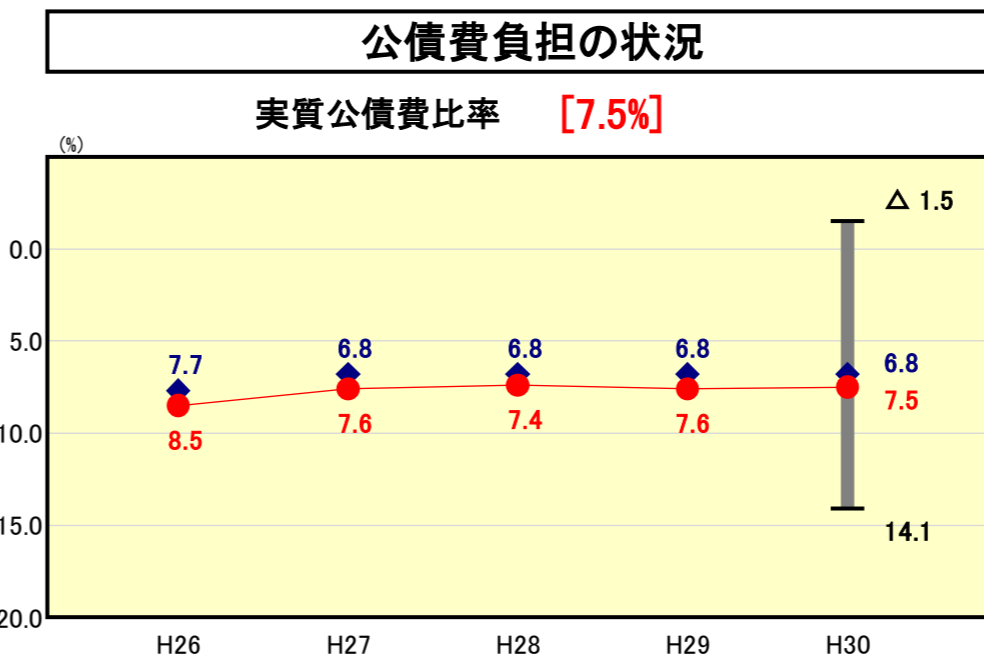
類似団体とのかい離は平成27年度以降年々拡大しており、その主な要因は地方債の現在高と公営企業債等繰入見込額の伸びに因る。
 地方債の現在高については、小中学校の大規模改修や幼稚園の建設などが続き地方債は短期間で大幅に増加した。また公営企業債等繰入見込額では、公共下水道事業特別会計への繰出金が年々増加しており数値を上げる要因となった。
 平成28年度では、充当可能財源である財政調整基金を3億円取崩し、特に数値が大きく悪化している。



類似団体内順位 59/99 全国平均 0.51 福岡県平均 0.54

財政力指数の分析欄

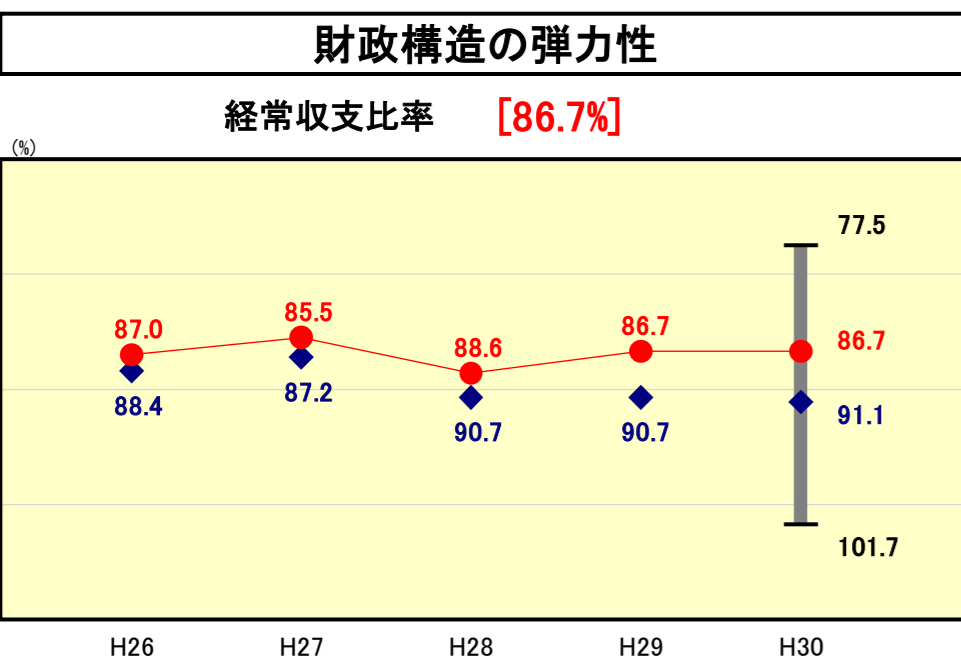
平成27年度以降、わずかに改善はしているが、類似団体内順位は依然中間以下であり、その主な要因は類似団体と比較して税収の割合が低いことが大きい。
 町の人口はわずかずつではあるが増加しており、それに伴って住民税・固定資産税等の税収も年々伸びてはいるものの、依然扶助費・補助費等にかかる支出が増大しておりなかなか改善に結びついていかない。
 ただ、近年大型事業所や小売り商業店舗の進出が続いており活気も増えつつある。今後も税の徴収を強化して税収増加による歳入の確保に努め、類似団体



類似団体内順位 56/99 全国平均 6.1 福岡県平均 8.6

実質公債費比率の分析欄

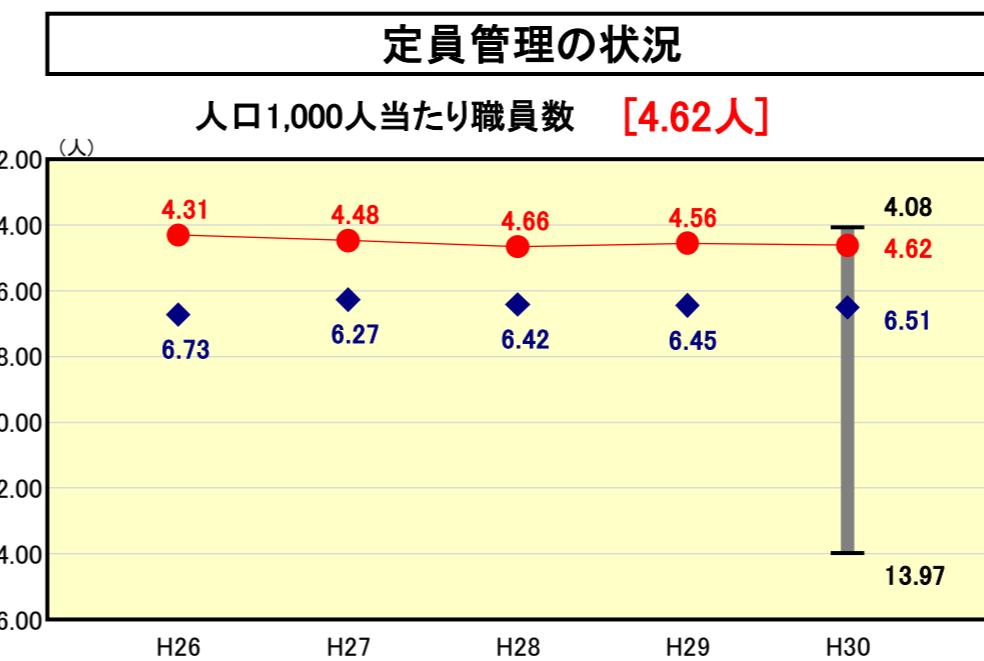
平成初期に借入を実施した比較的高額・高利率な借入が近年償還終了を迎えてきており、ここ数年は実質公債費比率は減少傾向にある。
 今後も既存公共施設の老朽化による改修、更新などが見込まれるが、令和2年度に公共施設等個別施設計画を策定予定であり、すでに策定済の公共施設等総合管理計画と併せて活用し事業費や新規の地方債発行の平準化を図り、財政の健全化に努めていく。



類似団体内順位 14/99 全国平均 93.0 福岡県平均 94.3

経常収支比率の分析欄

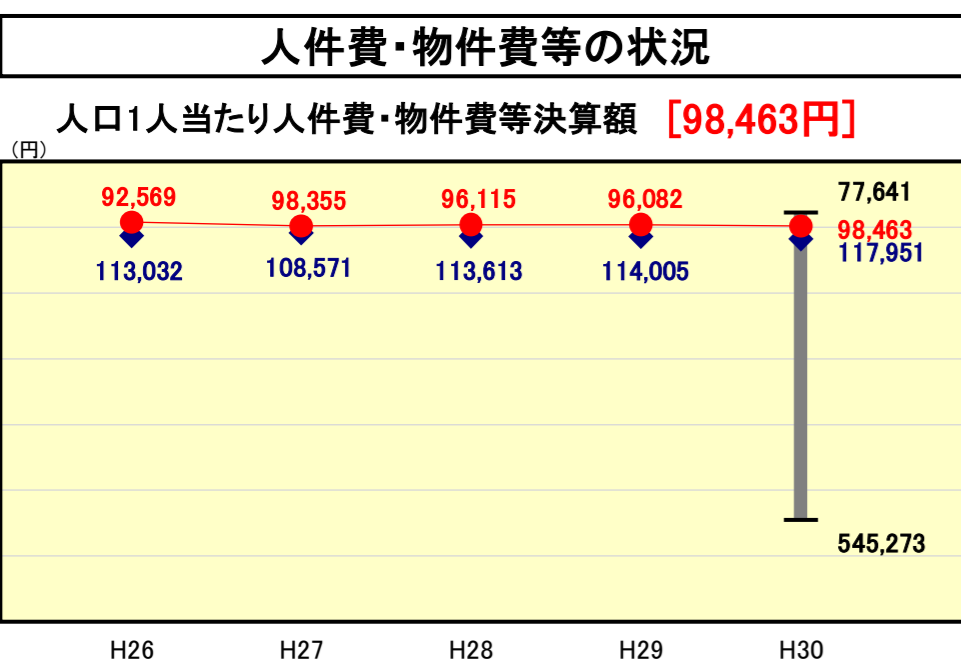
平成20年度以降、類似団体とのかい離はほぼなくなり、平成29年度では4.0ポイント、平成30年度では4.4ポイント下回った。一般財源の主である税収が年々増加していることや普通建設事業の抑制が主な要因であるが、依然として特別会計への繰出金や一部事務組合への負担金、扶助費等が年々増加しており財政の硬直化の一因となっている。特に公共下水道事業特別会計への繰出金は町全体の財政を圧迫しており、今後は事業計画や利用料金の見直しが必要とされる。
 人件費及び物件費については、職員の給与・定員の適正化や事務事業の見



類似団体内順位 8/99 全国平均 7.95 福岡県平均 8.06

人口1,000人当たり職員数の分析欄

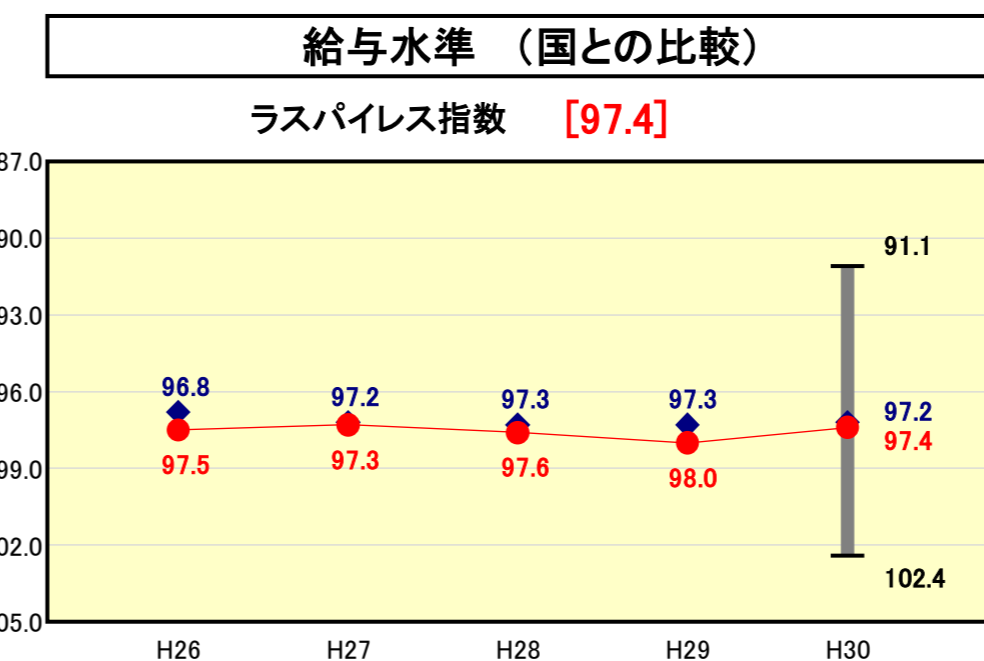
平成20年辺りからの新規採用抑制策により類似団体平均を下回っている。今後は、更に電子化の推進やアウトソーシングの活用を図ることで、内部管理事務の抜本的見直しを中心とした組織の簡素化を進め、現状を維持・向上できるよう努める。



類似団体内順位 22/99 全国平均 132,793 福岡県平均 134,691

人口1人当たり人件費・物件費等決算額の分析欄

人件費、物件費等の決算額の人口1人当たりの金額が類似団体平均を下回っているのは、千人当たりの職員数が類似団体に比べ少なく、人件費を抑制しているためである。しかし職員数縮小の一方で、増加傾向にある業務量を補うため臨時職員の雇用や委託業務件数の増加、また就学前児童の増加による保育実施委託料の増加等により物件費は増加傾向にある。そういった理由で委託料等の物件費が増加傾向にあり数値の悪化の要因となっている。
 平成30年度以降、臨時職員については町での直接雇用を無くし、包括業務委託での対応とし雇用人数と経費の縮減を目指す。



類似団体内順位 50/99 全国市平均 98.9 全国町村平均 96.3

ラスパイレ指数の分析欄

現行の給料表は年功的な体系となっており、上下の職務の級間での水準の重なりも大きいものとなっている。こうした年功的な要素が強い給料表の構造を見直し、職務・職責に応じた構造への転換を図る観点から、職務の級間の給料表水準の重なり縮小、枠外昇給制度の廃止などの措置を講ずることにより、ラスパイレ指数を全国町村平均まで低下させるとともに、住民に理解を得られない手当の抜本的見直しを行う。

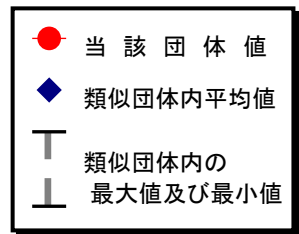
(4)-1 市町村経常経費分析表(普通会計決算)

平成30年度

福岡県須恵町

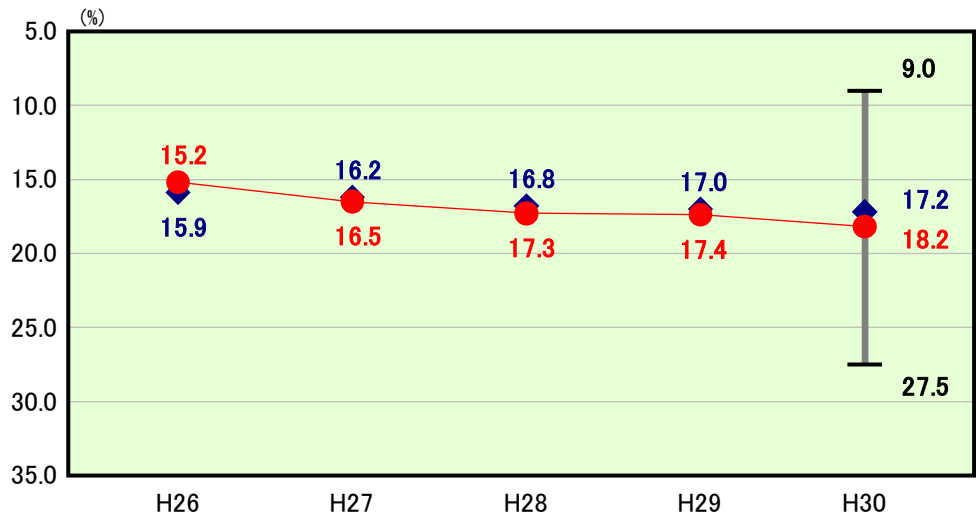
経常収支比率の分析

人口	28,554	人(H31.1.1現在)	実質赤字比率	-	%
うち日本人	28,308	人(H31.1.1現在)	連結実質赤字比率	-	%
面積	16.31	km ²	実質公債費比率	7.5	%
歳入総額	8,534,849	千円	将来負担比率	50.9	%
歳出総額	8,129,276	千円	市町村類型	H26 V-2 H27 V-2 H28 V-2	
実質収支	371,801	千円	(年度毎)	H29 V-2 H30 V-2	
標準財政規模	5,552,664	千円			
地方債現在高	6,803,315	千円			



※ 市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。
 ※ 人口については、各調査対象年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口に基づいている。
 ※ 類似団体内順位、全国平均、各都道府県平均は、平成30年度決算の状況である。また類似団体が存在しない場合、類似団体内順位を表示しない。

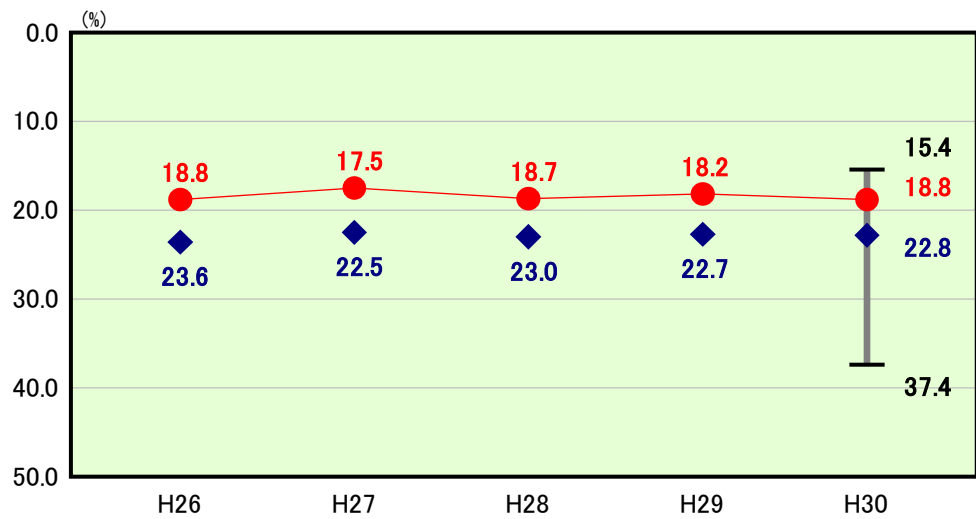
物件費



類似団体内順位 64/99 全国平均 14.7 福岡県平均 13.8

物件費の分析欄
 ここ数年は類似団体とほぼ同水準で増加傾向であると言える。主な要因は、職員数の縮小に反して業務量が増加していることにより委託業務件数が増加している点である。近年、需用費・備品購入費の削減目標(5%)を進めているが、この取組もほぼ限界にきている。今後行政評価制度を取り入れ、業務の削減も含め見直しをし、委託業務の簡素化・集約化を進めて委託料の削減等にも努める。

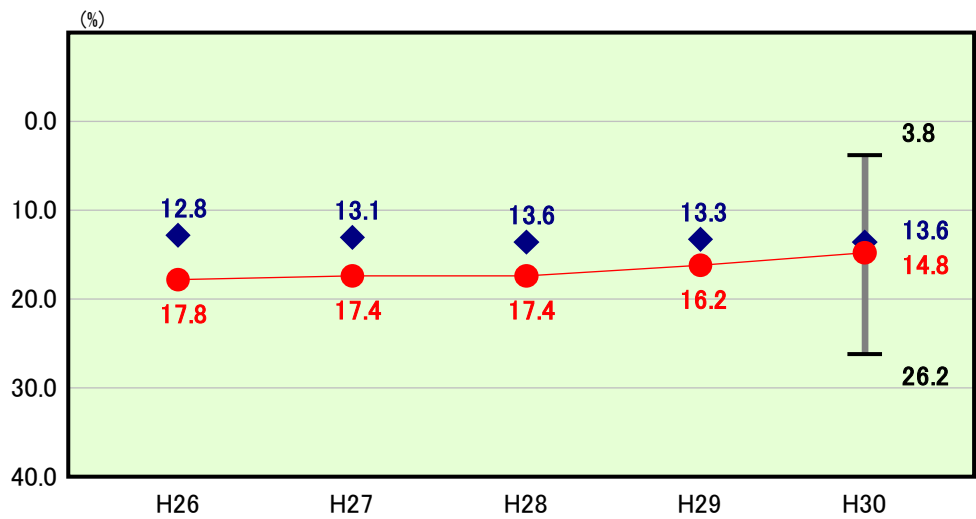
人件費



類似団体内順位 17/99 全国平均 25.6 福岡県平均 25.4

人件費の分析欄
 類似団体と比較して人件費の数値が低いのは職員数が少ないため、平成30年度は類似団体平均値より4.0ポイント低い値となっている。人口1人当たりの決算額でも類似団体平均を下回っており、今後も平均値を下回るよう引き続き手当等の見直しを図り、行財政改革の取り組みと並行して人件費の削減に努める。

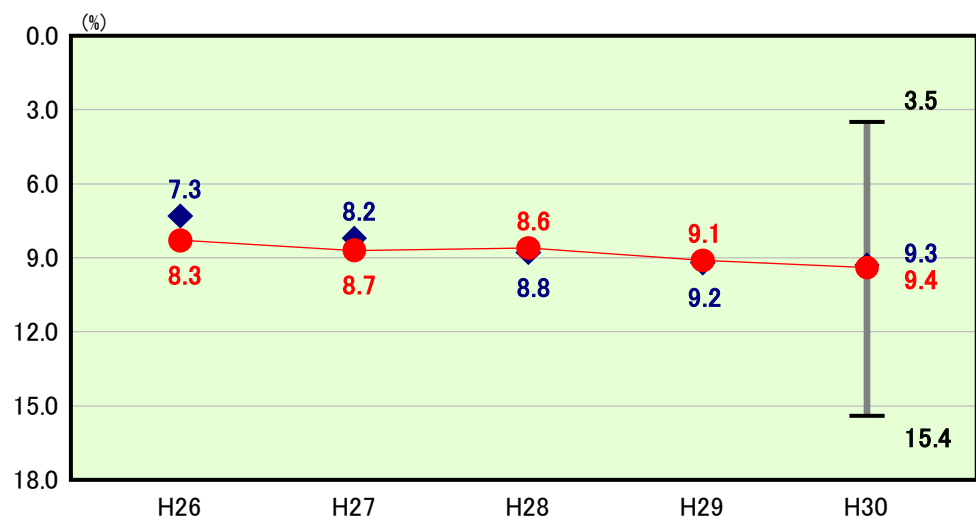
補助費等



類似団体内順位 62/99 全国平均 10.2 福岡県平均 9.8

補助費等の分析欄
 類似団体平均との差は年々少なくなってきており、平成30年度は、類似団体平均との差は1.2ポイントまで縮まった。主な要因としては、平成28年度はプレミアム付商品券発行事業(138,000千円)を実施したが、平成29年度では委託業務にしたため補助費等としては、110,000千円以上の削減となった。依然、全国平均や福岡県平均との差は大きいですが、段階的に各団体等への補助金の見直しを行っており類似団体平均に近くなるよう努める。

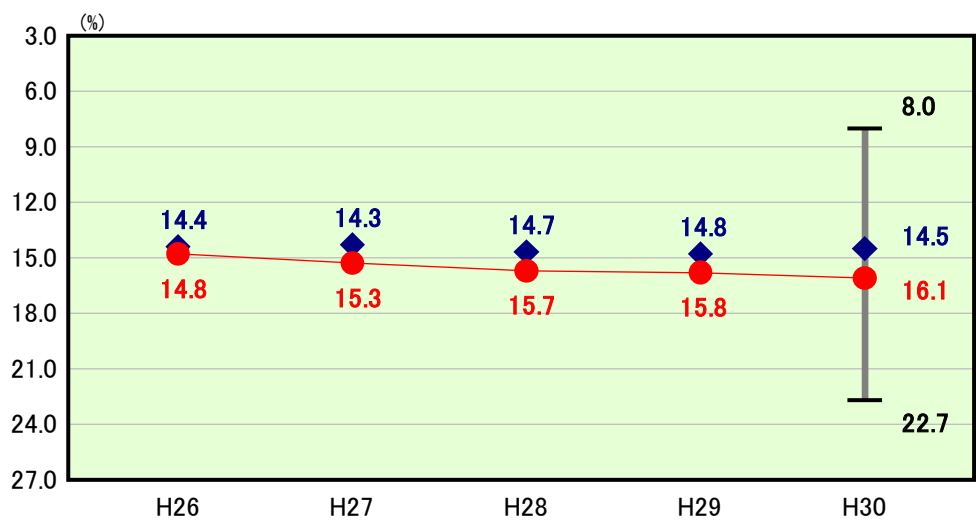
扶助費



類似団体内順位 53/99 全国平均 12.6 福岡県平均 14.1

扶助費の分析欄
 平成26年度では類似団体平均よりも1.0ポイント高い数値であったが年々数値は増加傾向にあり、類似団体の数値の推移同様の推移を示し、平成30年度では類似団体平均とほぼ変わらない数値となっている。要因として、人口は微増ながらも、就学前児童・高齢者の割合が上昇傾向にあり、今後も医療費等の増加が見込まれる。年齢や立場を問わず、町民誰もが安心して生活・参画できる町を目指し、健全化を図っていくよう努める。

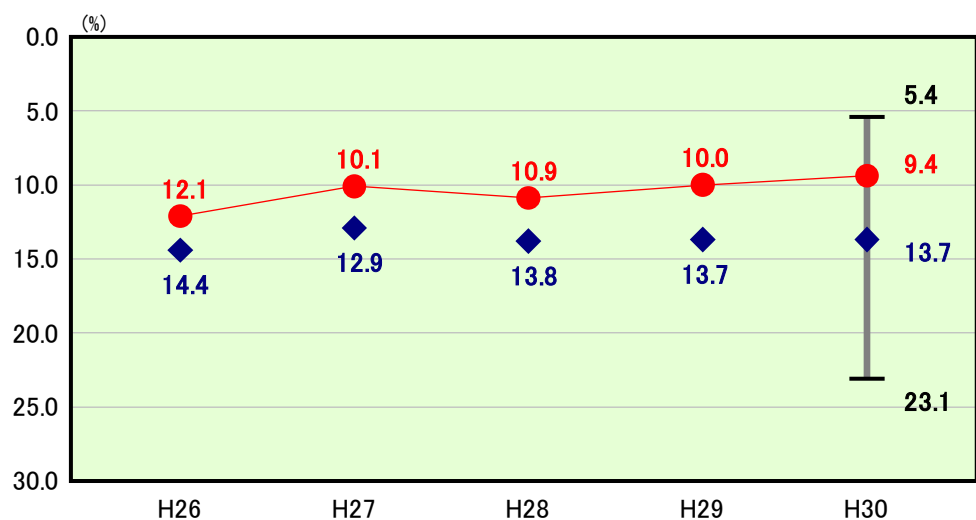
その他



類似団体内順位 64/99 全国平均 13.3 福岡県平均 12.6

その他の分析欄
 年々増加傾向であり、平成30年度は類似団体平均を1.6ポイント上回っている。その主な要因は、特別会計への繰出金の増加や、学校施設の大規模改修、幼稚園の建替え等である。国民健康保険特別会計及び農業集落排水事業特別会計への繰出金は減少傾向にあるものの、公共下水道事業特別会計繰出金及び介護保険広域連合への負担金が増加傾向にある。今後も健康増進の啓発活動などを通じて医療費の負担を減らし健全化を図る。

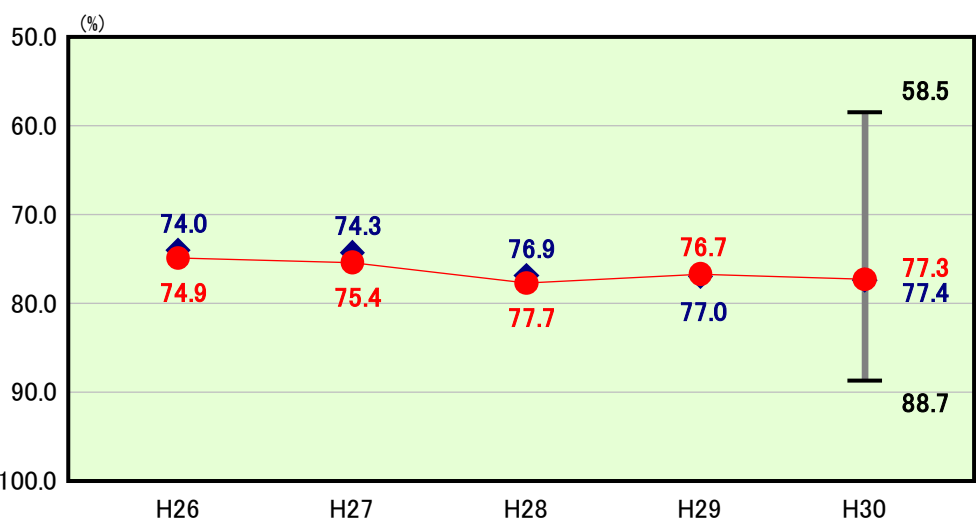
公債費



類似団体内順位 15/99 全国平均 16.6 福岡県平均 18.6

公債費の分析欄
 平成初頭に借入れした額の大きな地方債の多くが償還終了期を迎えており、それに伴い年々公債費は減少傾向にある。平成30年度は、類似団体平均値を4.3ポイント下回ってはいるが、今後多くの教育施設やその他公共施設の改修や更新などを予定しているため町債の新規発行が見込まれる。可能な限り新規発行を償還額以内に収め、現在の水準の維持に努める。

公債費以外



類似団体内順位 37/99 全国平均 76.4 福岡県平均 75.7

公債費以外の分析欄
 これまで類似団体平均を上回っていたが、平成29年度で初めて0.3ポイント下回った。しかし、扶助費、物件費等の増大により、類似団体と同様に増加傾向にある。中でも財政を圧迫しているのは、医療費や給付費、各特別会計への繰出金などで、年々増加傾向にあり歯止めが効かない。各特別会計への繰出金を減らすべく料金の見直し、適正化を図り、税金を含めた財源の確保を主目標とし財政の健全化を図っていく。

(4)-2 市町村経常経費分析表(普通会計決算)

平成30年度

福岡県須恵町

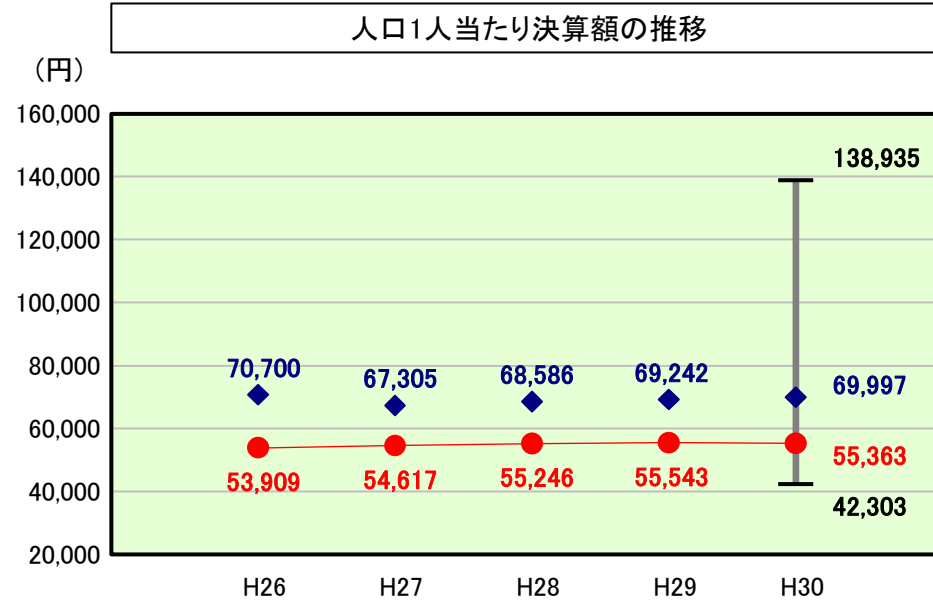
人件費及び人件費に準ずる費用の分析

人件費及び人件費に準ずる費用

	当該団体決算額 (千円)	人口1人当たり決算額		
		当該団体(円)	類似団体平均(円)	対比(%)
人件費	1,233,507	43,199	56,489	▲ 23.5
賃金(物件費)	163,692	5,733	5,759	▲ 0.5
一部事務組合負担金(補助費等)	224,113	7,849	8,418	▲ 6.8
公営企業(法適)等に対する繰出し(補助費等)	-	-	199	-
公営企業(法適)等に対する繰出し(投資及び出資金・貸付金)	-	-	11	-
公営企業(法非適)等に対する繰出し(繰出金)	36,998	1,296	2,749	▲ 52.9
事業費支弁に係る職員の人件費(投資的経費)	34,321	1,202	1,213	▲ 0.9
▲退職金	▲ 111,798	▲ 3,915	▲ 4,842	▲ 19.1
合計	1,580,833	55,363	69,997	▲ 20.9

参考

	当該団体	類似団体平均	対比(差引)
人口1,000人当たり職員数(人)	4.62	6.51	▲ 1.89
ラスパイレス指数	97.4	97.2	0.2



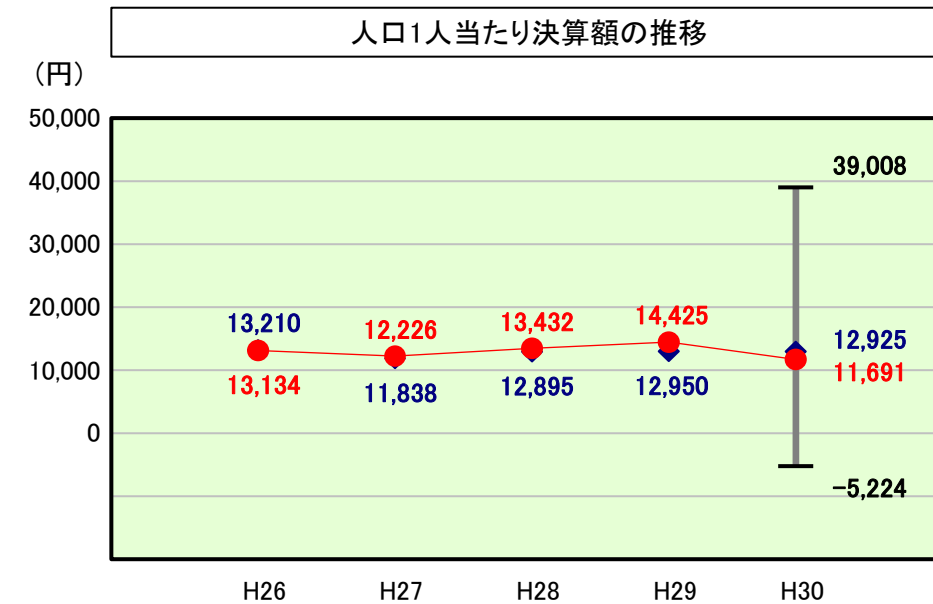
(注) 人口については、各調査対象年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口に基づいている。

公債費及び公債費に準ずる費用の分析

公債費及び公債費に準ずる費用(実質公債費比率の構成要素)

	当該団体決算額 (千円)	人口1人当たり決算額		
		当該団体(円)	類似団体平均(円)	対比(%)
元利償還金の額 (繰上償還額等を除く)	526,277	18,431	31,531	▲ 41.5
積立不足額を考慮して算定した額	-	-	-	-
満期一括償還地方債の一年当たりの元金償還金に相当するもの (年度割相当額)	-	-	-	-
公営企業に要する経費の財源とする地方債の償還の財源に 充てたと認められる繰入金	327,268	11,461	9,647	18.8
一部事務組合等の起こした地方債に充てたと認められる 補助金又は負担金	-	-	2,316	-
公債費に準ずる債務負担行為に係るもの	47,372	1,659	1,006	64.9
一時借入金利息 (同一団体における会計間の現金運用に係る利息は除く)	-	-	1	-
▲特定財源の額	-	-	▲ 3,160	-
▲地方債に係る元利償還金及び準元利償還金に要する経費として 普通交付税の額の算定に用いる基準財政需要額に算入された額	▲ 567,104	▲ 19,861	▲ 28,415	▲ 30.1
合計	333,813	11,691	12,925	▲ 9.5

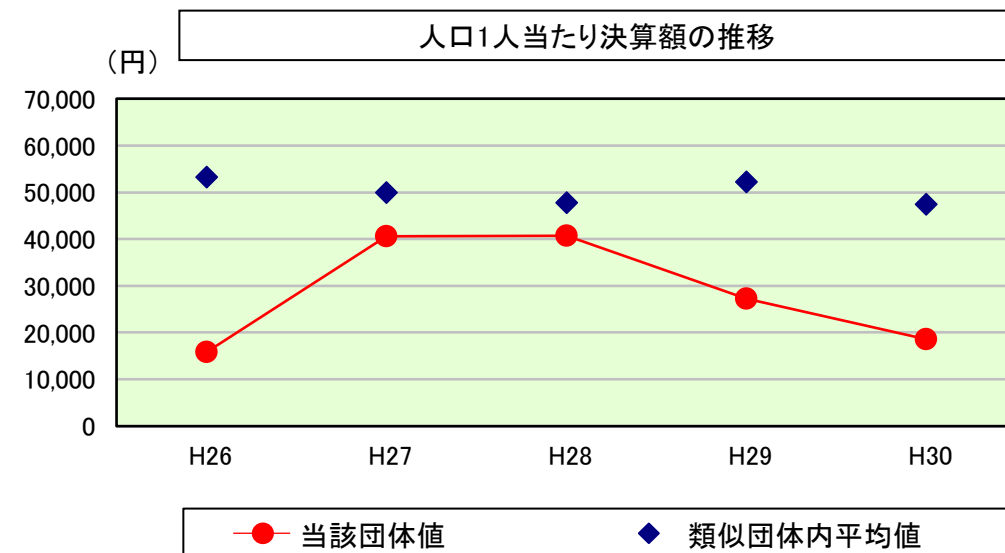
※平成31年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく実質公債費比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。



(参考) 普通建設事業費の分析

普通建設事業費

	当該団体決算額 (千円)	人口1人当たり決算額				
		当該団体(円)	増減率(%) (A)	類似団体平均(円)	増減率(%) (B)	(A)-(B)
H26	433,851	15,850	▲ 40.7	53,292	0.0	▲ 40.7
うち単独分	289,972	10,594	▲ 41.9	28,900	18.9	▲ 60.8
H27	1,121,561	40,538	155.8	49,919	▲ 6.3	162.1
うち単独分	951,795	34,402	224.7	26,398	▲ 8.7	233.4
H28	1,136,538	40,745	0.5	47,738	▲ 4.4	4.9
うち単独分	762,532	27,337	▲ 20.5	24,937	▲ 5.5	▲ 15.0
H29	765,900	27,272	▲ 33.1	52,191	9.3	▲ 42.4
うち単独分	581,958	20,722	▲ 24.2	24,843	▲ 0.4	▲ 23.8
H30	528,223	18,499	▲ 32.2	47,387	▲ 9.2	▲ 23.0
うち単独分	314,511	11,015	▲ 46.8	24,928	0.3	▲ 47.1
過去5年間平均	797,215	28,581	10.1	50,105	▲ 2.1	12.2
うち単独分	580,154	20,814	18.3	26,001	0.9	17.4

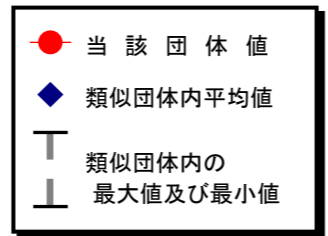


(5) 市町村性質別歳出決算分析表(住民一人当たりのコスト)

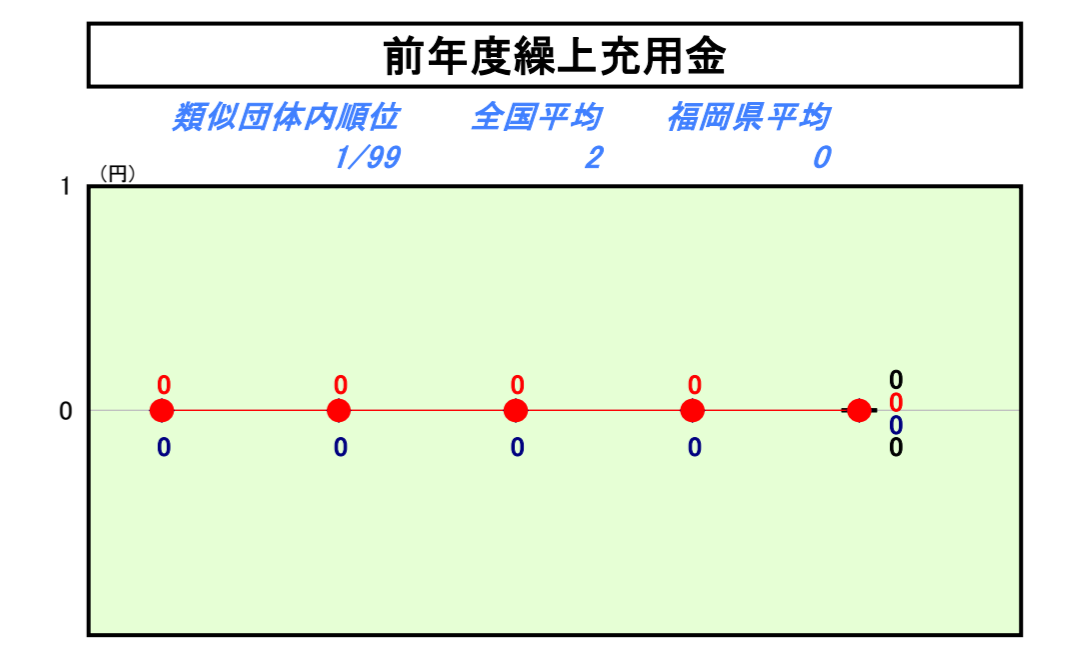
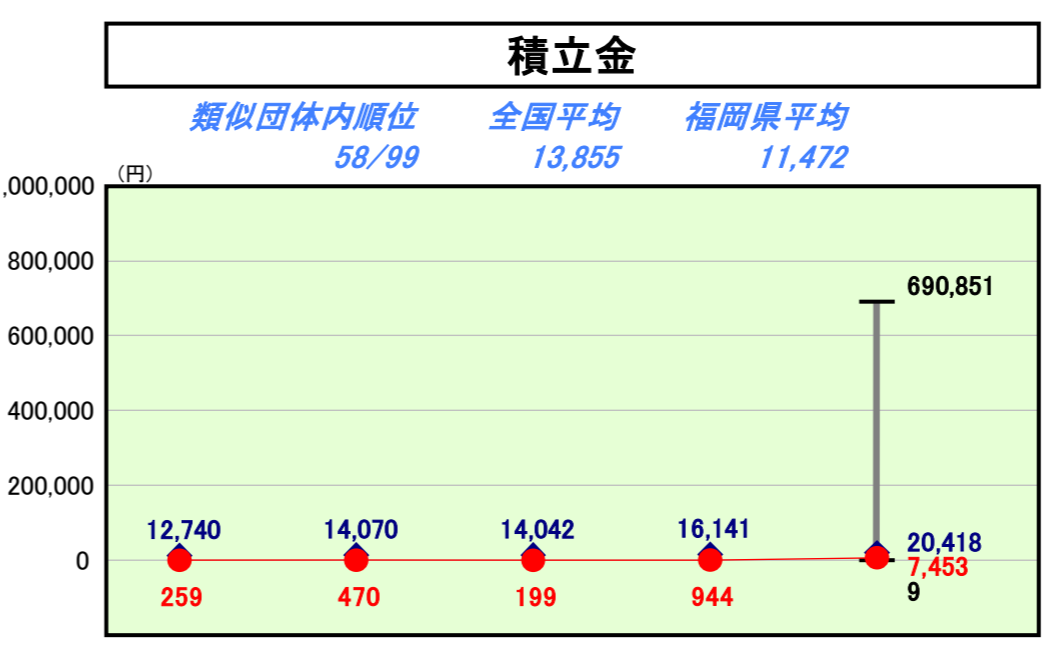
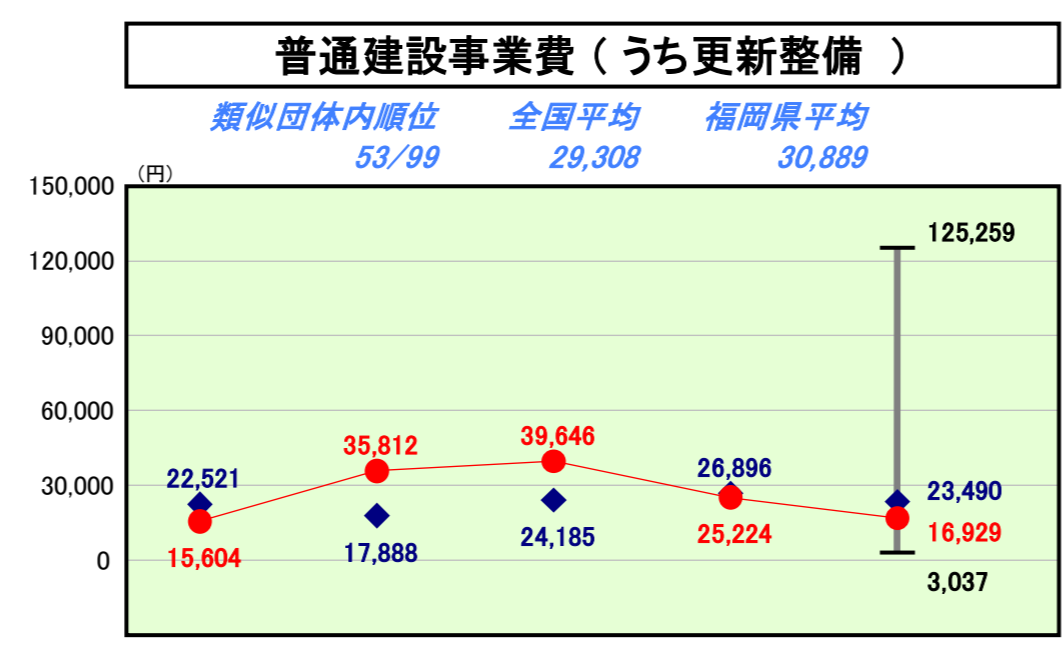
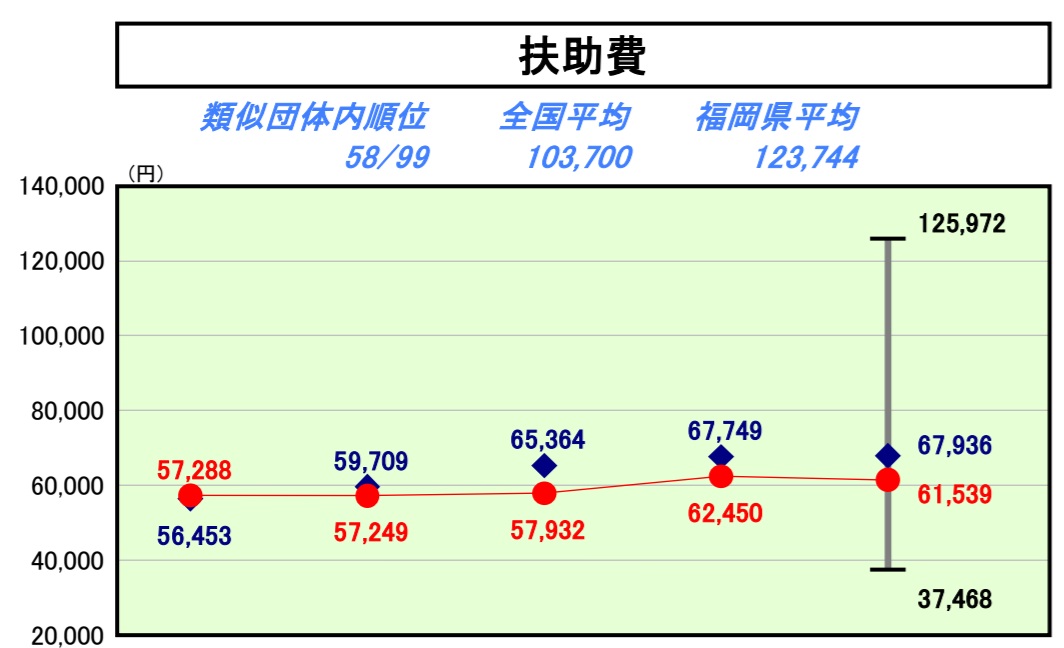
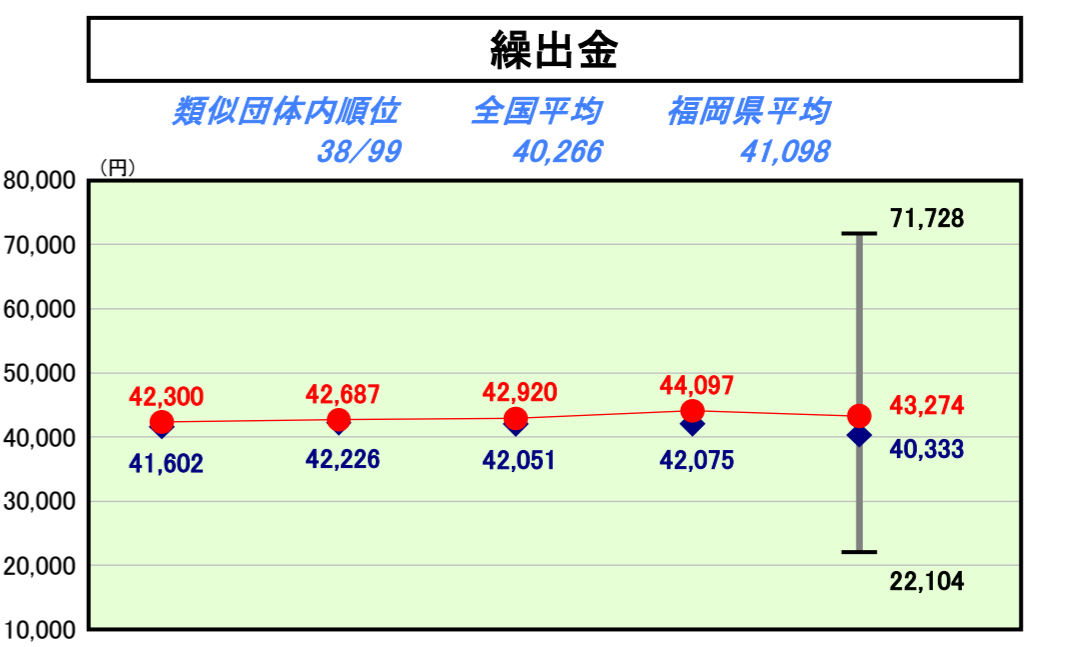
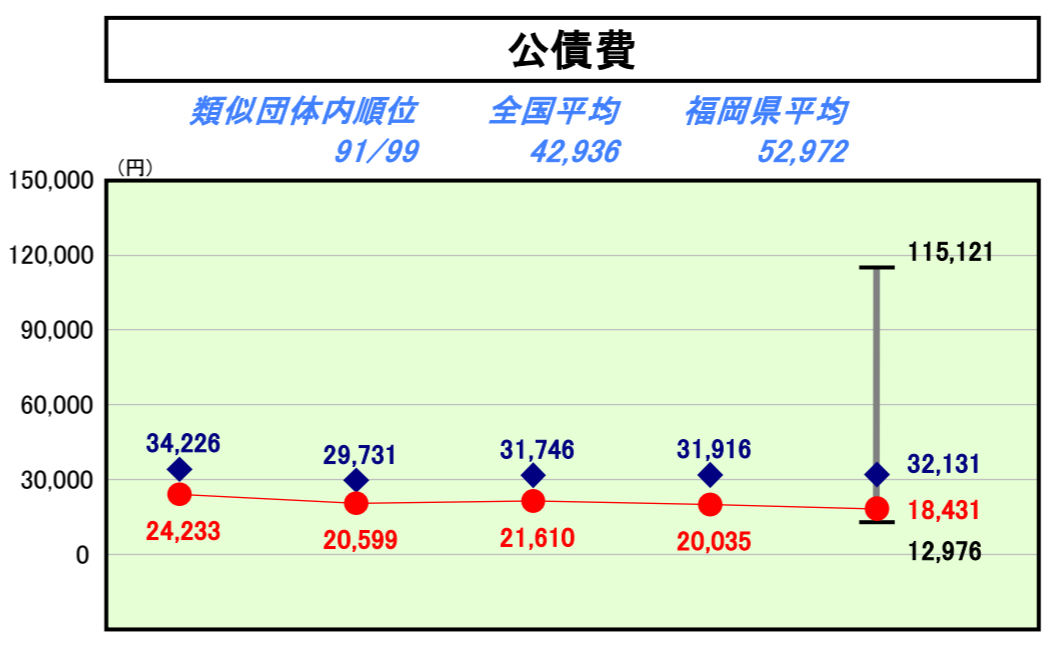
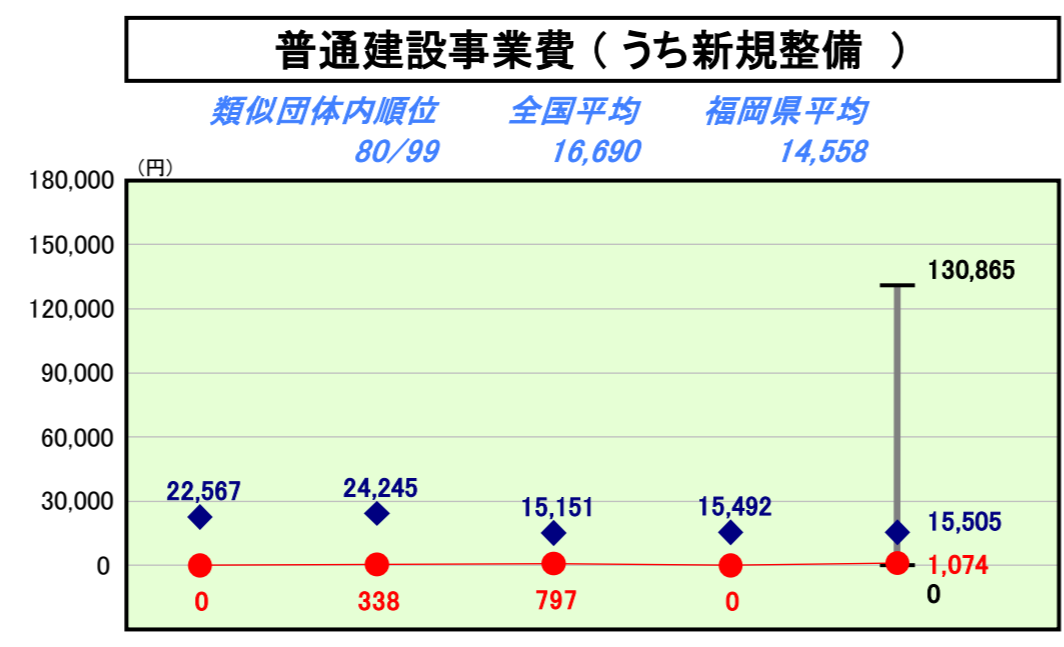
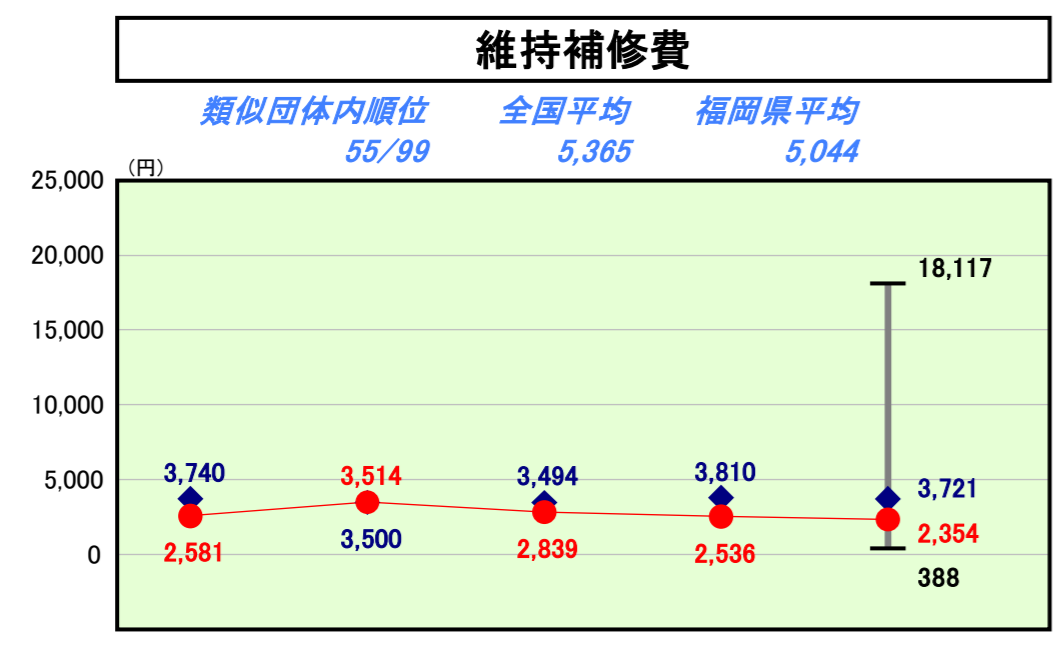
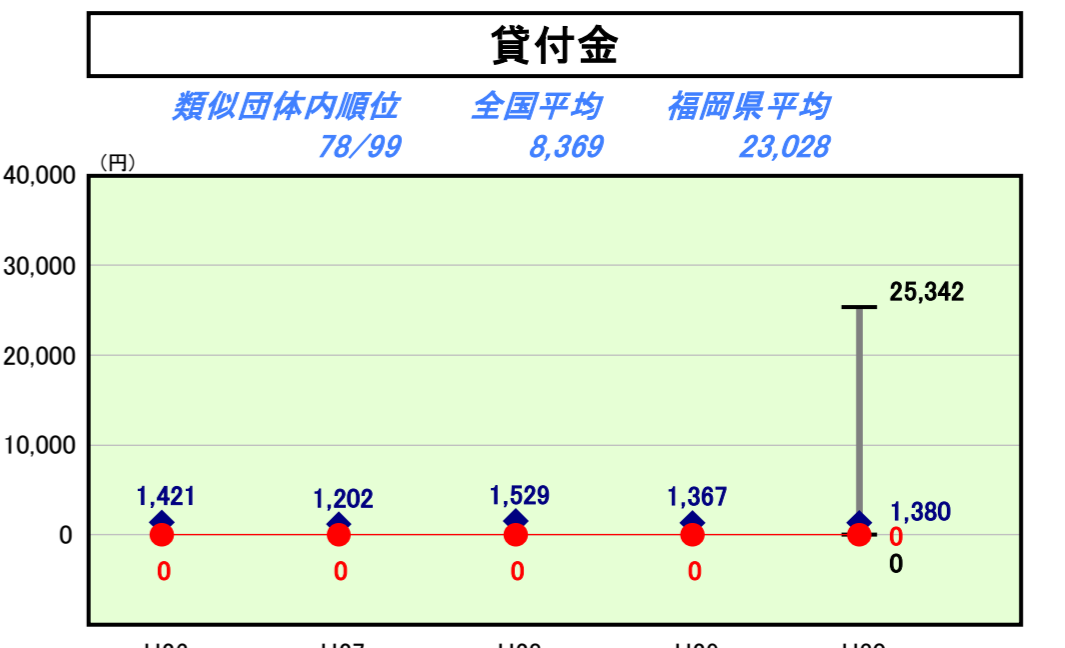
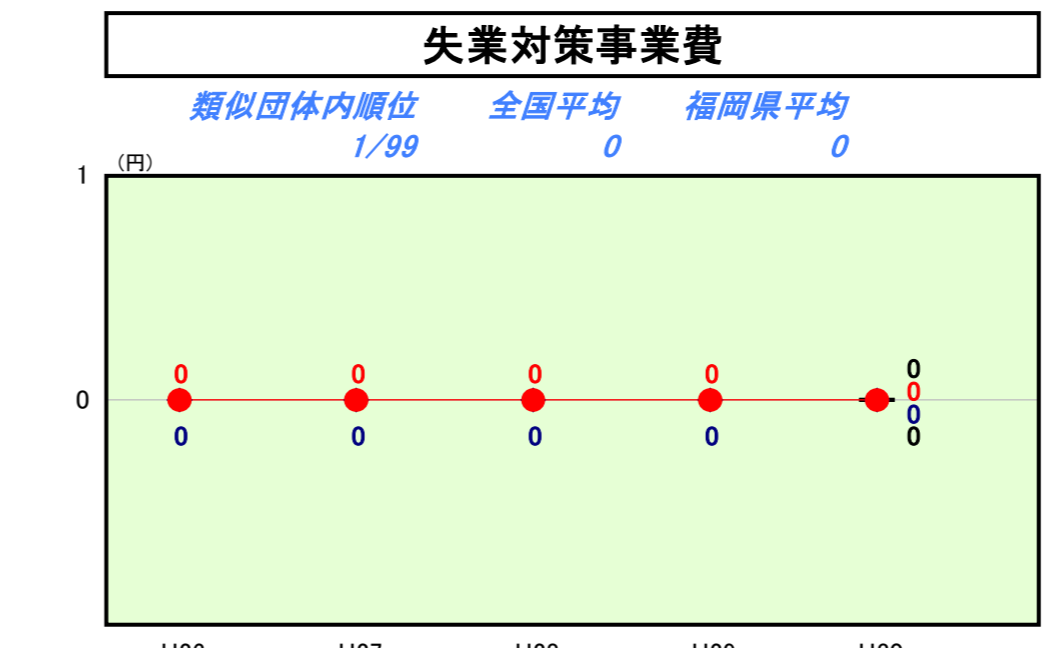
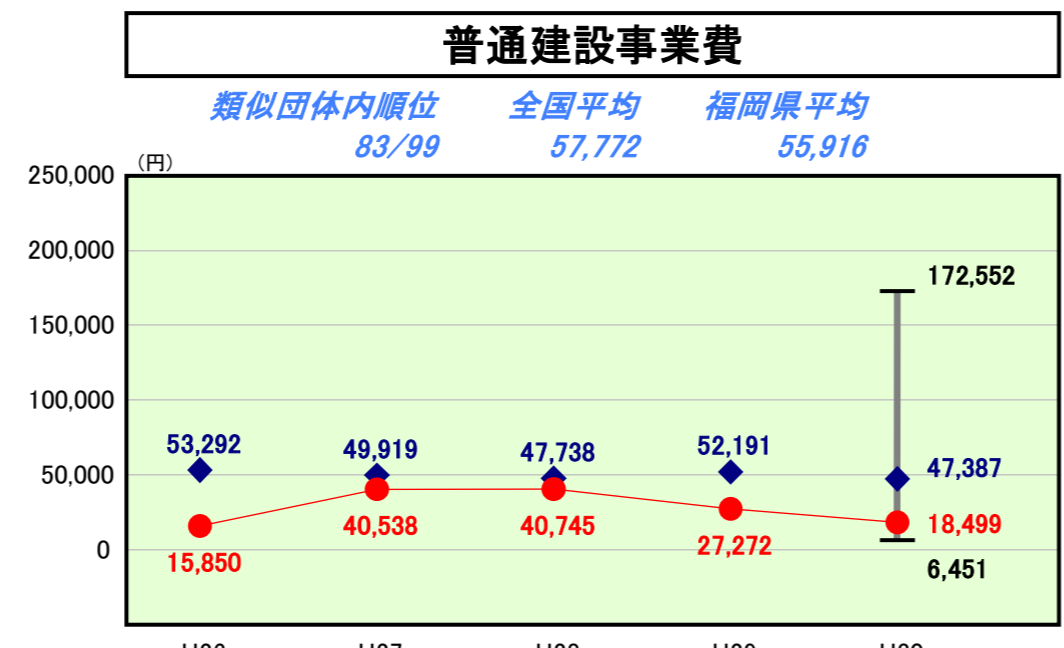
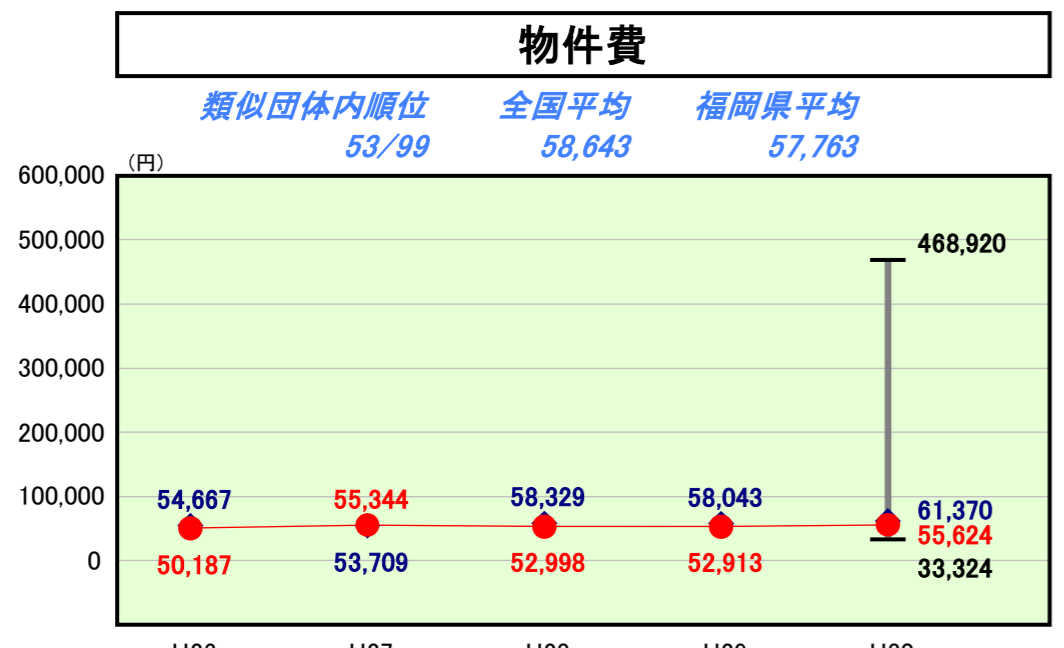
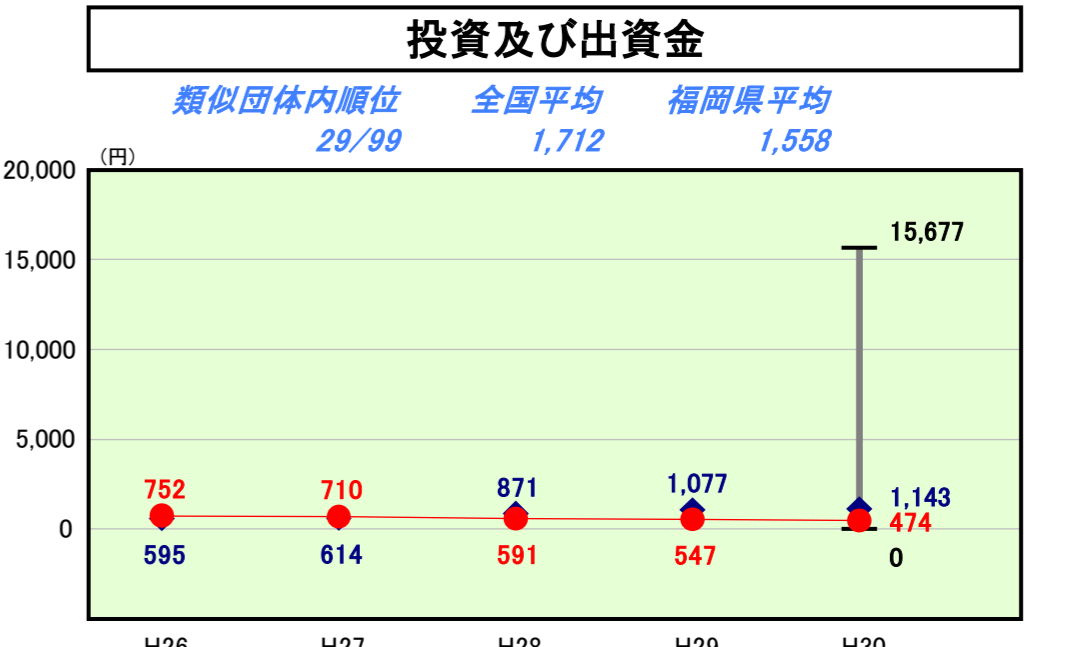
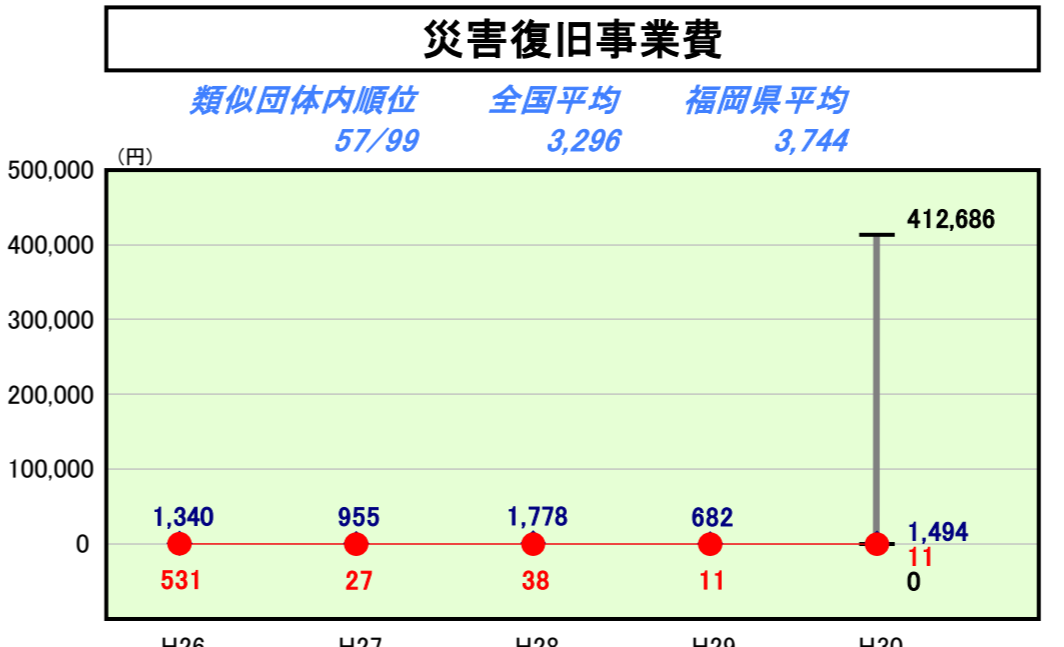
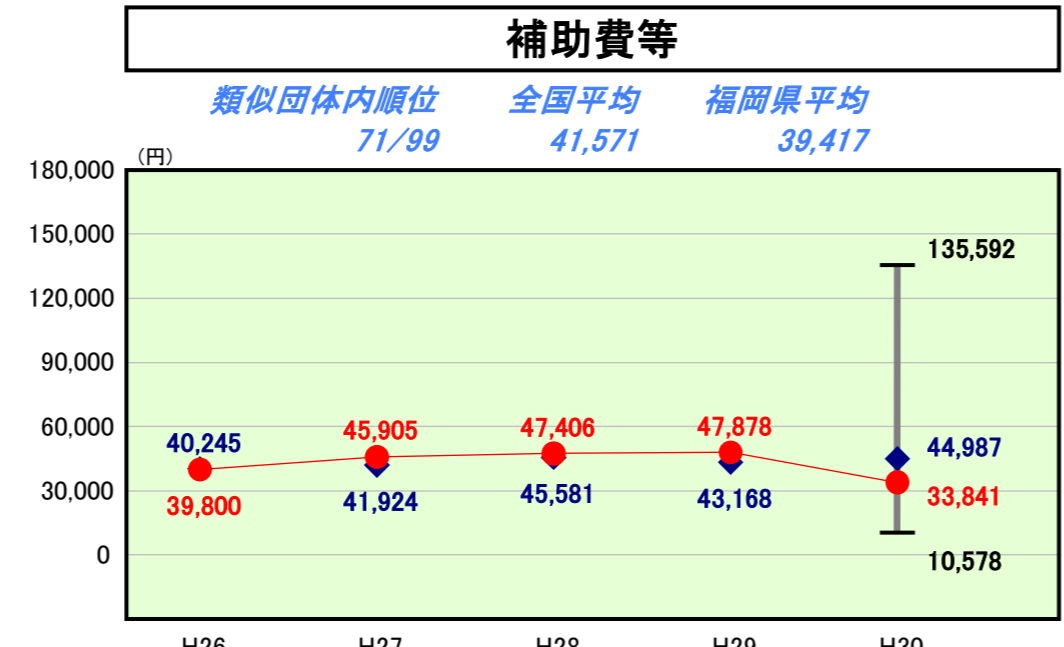
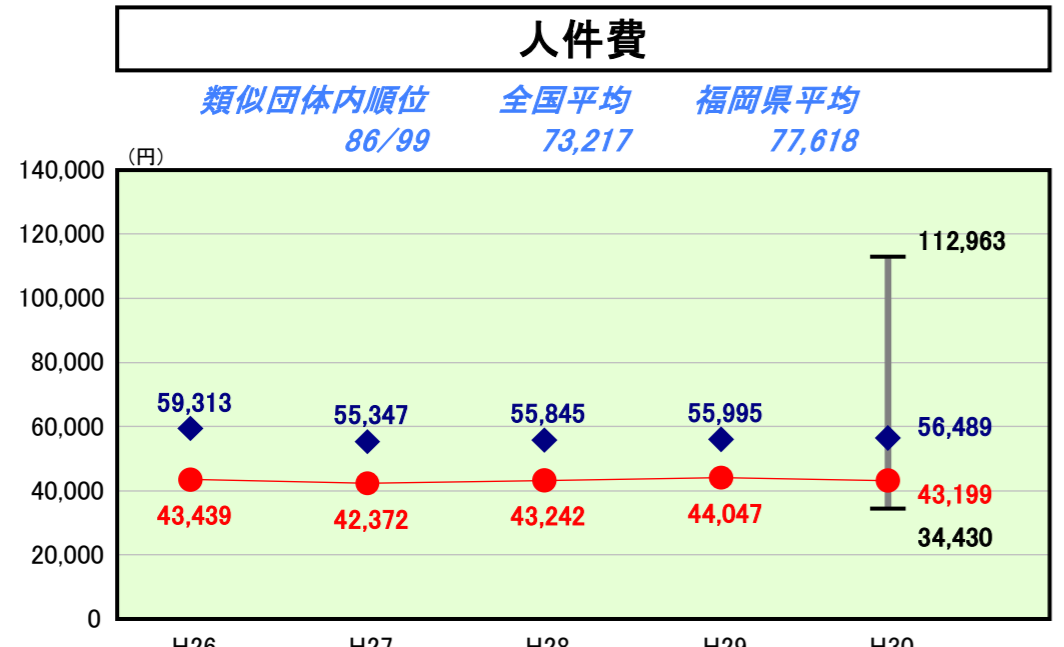
平成30年度

福岡県須恵町

人口	28,554人(H31.1.1現在)	実質赤字比率	-%
うち日本人	28,308人(H31.1.1現在)	連結実質赤字比率	-%
面積	16.31km ²	実質公債費比率	7.5%
歳入総額	8,534,849千円	将来負担比率	50.9%
歳出総額	8,129,276千円	市町村類型	H26 V-2 H27 V-2 H28 V-2
実質収支	371,801千円	(年度毎)	H29 V-2 H30 V-2
標準財政規模	5,552,664千円		
地方債現在高	6,803,315千円		



※ 市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。
 ※ 人口については、各調査対象年度の1月1日現在の住民基本台帳に記載されている人口に基づいている。
 ※ 類似団体内順位、全国平均、各都道府県平均は、平成30年度決算の状況である。また類似団体が存在しない場合、類似団体内順位を表示しない。



性質別歳出の分析欄

歳出決算総額は、住民一人当たり284,698円で前年度と比較し18,032円の減となっている。
 性質別歳出で類似団体とかい離が大きなものは、人件費、補助費等、普通建設事業費、公債費、積立金であり、いずれも類似団体を下回っている。
 人件費は43,199円で、類似団体よりも13,290円低い数値となっているが、10年以上前から職員数の縮減を進めており、以降類似団体と比較しても常に低い水準を維持できている。今後も、現状を維持できるよう努める。
 補助費等は、平成29年度まではプレミアム商品券等の大規模な事業を実施していたが、平成30年度は未実施のため、大幅な減額となった。
 普通建設事業費は、新規整備分は低水準で推移できており、更新整備分は類似団体と同水準の数値となっているが、既存公共施設の改修等が控えており、公共施設等個別施設計画を策定し事業費の平準化を図る。
 公債費は、近年減少傾向にあったが、平成27年度以降は、学校教育施設等の大規模改修や幼児園2園の更新等により下げ留まりとなっている。今後もこの水準を維持できるよう、公共施設等個別施設計画を策定し償還費の平準化を目指す。

(6)市町村目的別歳出決算分析表(住民一人当たりのコスト)

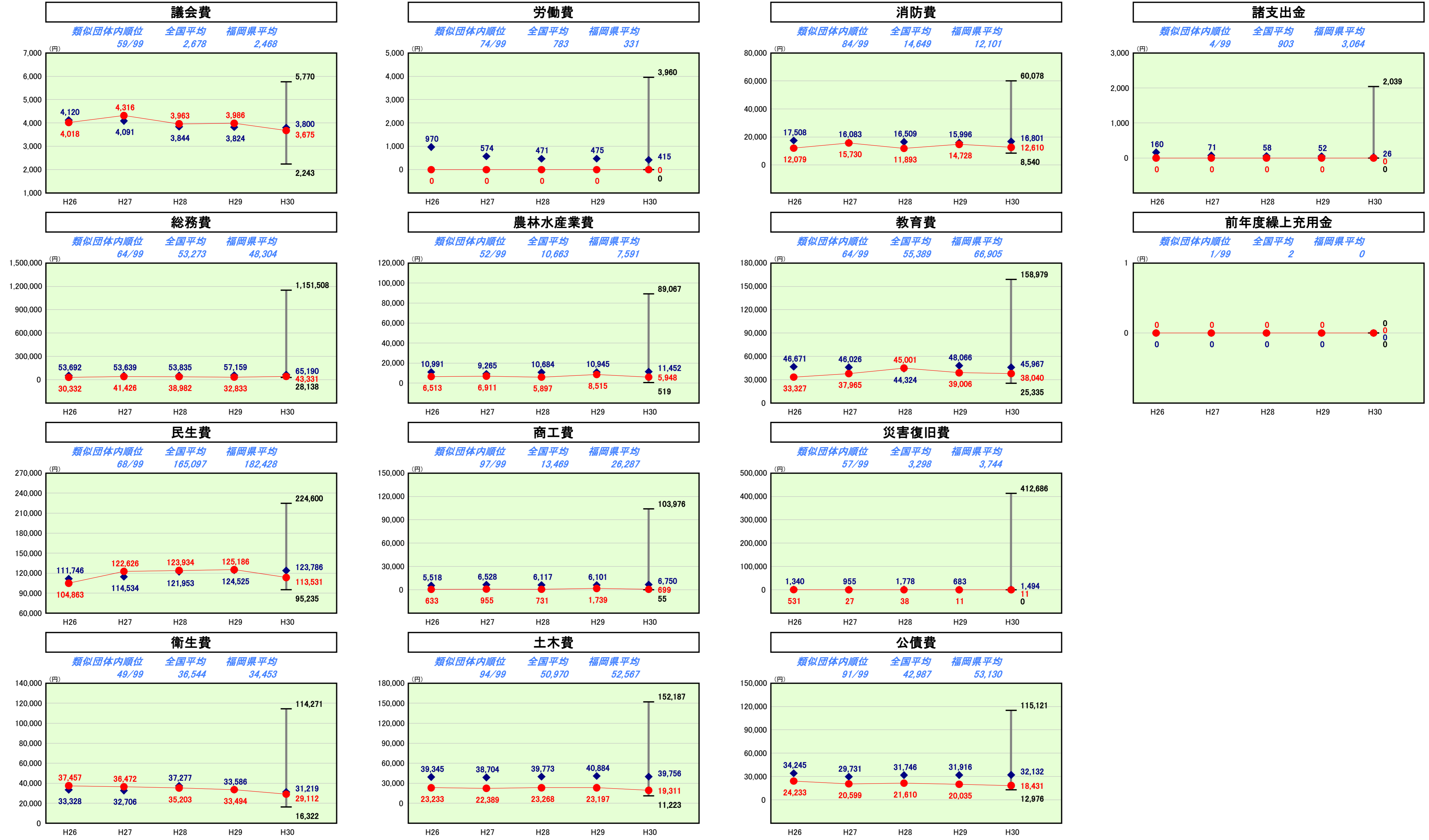
平成30年度

福岡県須恵町

人口	28,554人(H31.1.1現在)	実質赤字比率	-%
うち日本人	28,308人(H31.1.1現在)	連結実質赤字比率	-%
面積	16.31km ²	実質公費比率	7.5%
歳入総額	8,534,849千円	将来負担比率	50.9%
歳出総額	8,129,276千円	市町村類型	H26 V-2 H27 V-2 H28 V-2
実質収支	371,801千円	(年度毎)	H29 V-2 H30 V-2
標準財政規模	5,552,664千円		
地方債現在高	6,803,315千円		



※ 市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。
 ※ 人口については、各調査対象年度の1月1日現在の住民基本台帳に記載されている人口に基づいている。
 ※ 類似団体内順位、全国平均、各都道府県平均は、平成30年度決算の状況である。また類似団体が存在しない場合、類似団体内順位を表示しない。



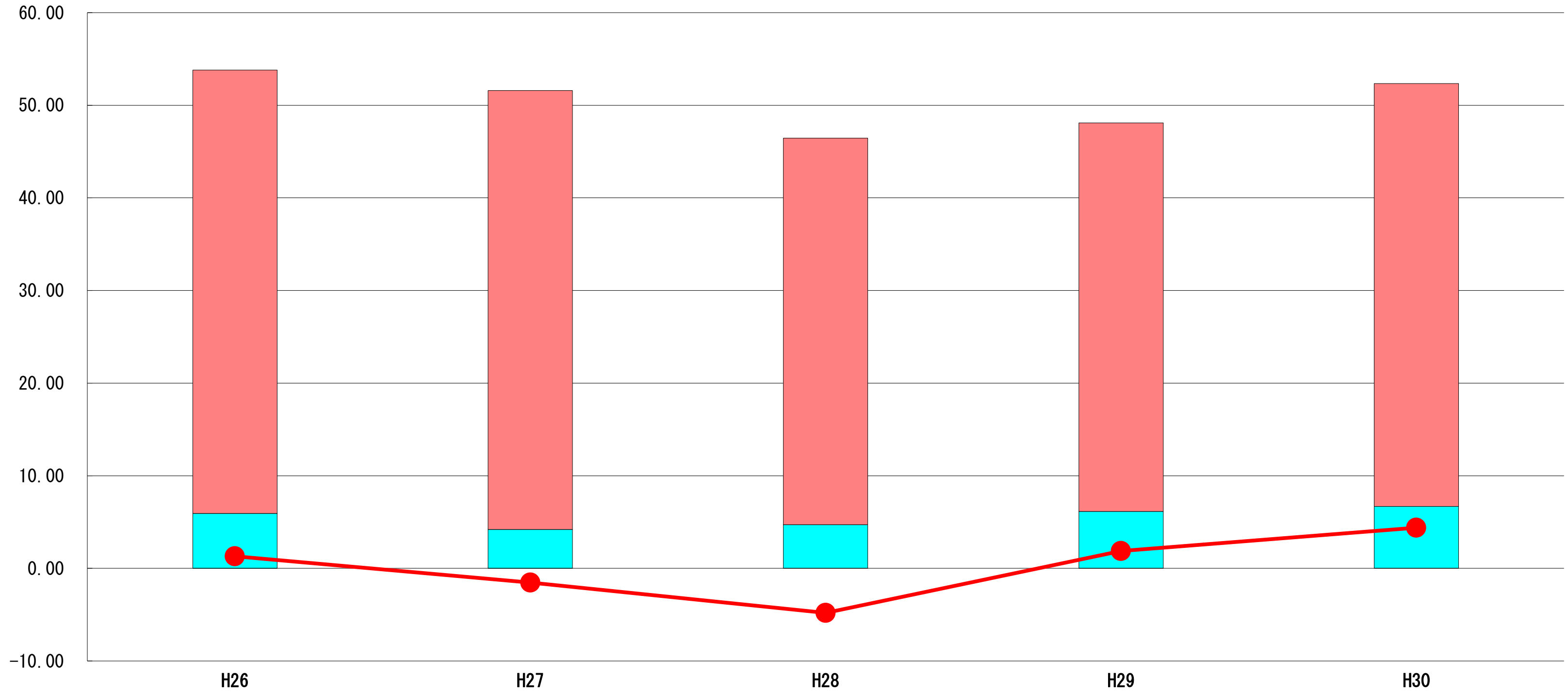
目的別歳出の分析欄
 全ての目的において、類似団体よりも低い数値となっている。
 類似団体と比較して、総務費、土木費、公債費は大きく下回っており、総務費は、十数年前より新規職員の採用を抑制しており、類似団体よりも人件費を縮減できていることが要因と考えられる。
 土木費は、道路や橋梁等のインフラにかかる工事を必要最低限の範囲のみ実施しており、それは教育施設等にかかる普通建設事業費の増額によって土木費に充当できる事業費が抑制されていることが要因といえる。
 公債費は、数十年前に新規借入した借入額の大きな町債が償還終了を迎えてきており、加えて借入の抑制を実施している成果が数値に現れており、今後もこの水準を維持できるよう努力していく。

(7) 実質収支比率等に係る経年分析 (市町村)




平成30年度

福岡県須恵町

標準財政規模比 (%)



標準財政規模比 (%)

区分	年度	H26	H27	H28	H29	H30
 財政調整基金残高		47.86	47.41	41.74	41.95	45.65
 実質収支額		5.94	4.19	4.71	6.14	6.70
 実質単年度収支		1.30	▲ 1.52	▲ 4.81	1.87	4.40

分析欄

平成26年度までは、実質収支額及び実質単年度収支ともに黒字で推移していたが、平成27年度では、新規幼稚園の建設等を実施したためマイナスとなった。加えて、平成28年度では財源の補てんとして基金を3億取崩し、更なる悪化となった。しかし、平成30年度は、決算余剰金として2億円の財政調整基金への積立ができ、財政の健全化を図ることができた。

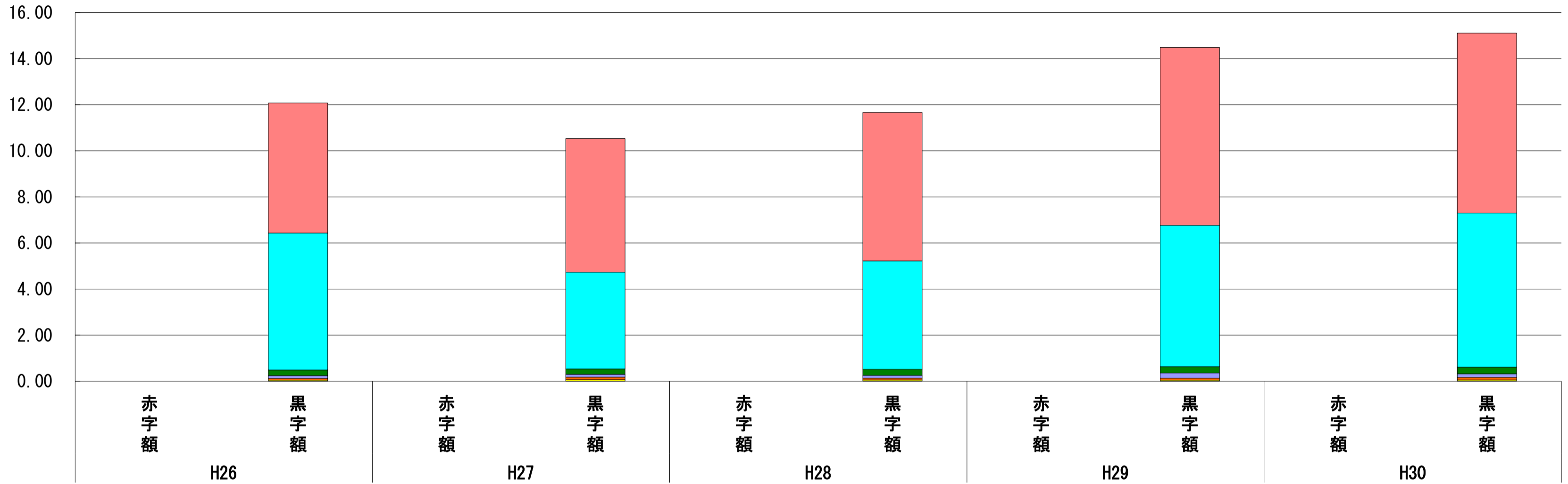
今後は小中学校など既存公共施設の改修・更新の事業が見込まれ基金残高の維持は難しいと思われる。早急に公共施設等個別施設計画を策定し、公共施設等適正配置に係る地方債の活用を視野に入れた長期的・計画的な財政計画により、この水準を改善していくよう努める。

(8) 連結実質赤字比率に係る赤字・黒字の構成分析 (市町村)

平成30年度

福岡県須恵町

標準財政規模比 (%)



標準財政規模比 (%)

会計	年度	H26	H27	H28	H29	H30
水道事業会計		5.65	5.80	6.44	7.72	7.81
一般会計		5.94	4.19	4.70	6.13	6.69
後期高齢者医療特別会計		0.24	0.24	0.26	0.28	0.29
公共下水道事業特別会計		0.12	0.12	0.12	0.22	0.15
国民健康保険特別会計		0.08	0.11	0.08	0.09	0.11
農業集落排水事業特別会計		0.05	0.07	0.06	0.05	0.06
その他会計 (赤字)		-	-	-	-	-
その他会計 (黒字)		-	-	-	-	-

分析欄

平成30年度は、一般会計をはじめ特別会計、水道事業会計すべての会計において黒字決算であり、一般会計については、決算余剰金として2億円を財政調整基金へ積立てることができた。しかし国民健康保険特別会計については、類似団体と比較して医療費の支出額が多く、赤字額の補てん分として43,000千円を一般会計から繰入しており、実質赤字収支と言える。

また農業集落排水事業特別会計では、一般会計より50,668千円の繰入、公共下水道事業特別会計に関しても年々繰入金額が増加傾向にあり、本年度も286,867千円を一般会計から繰入している。しかも、現在も管渠工事がまだ町全体までは完了しておらず、今後も10年以上先まで新規延長工事や更新工事が控えており、一般会計の財政を圧迫する大きな要因のひとつとなっている。水道事業会計については、一般会計からの赤字補てんはおこなっておらず、独立して採算が取れている。

水道事業会計だけでなく、他の特別会計を含めすべての事業の集約やコンパクト化を図り、町全体の財政健全化に努めていく。

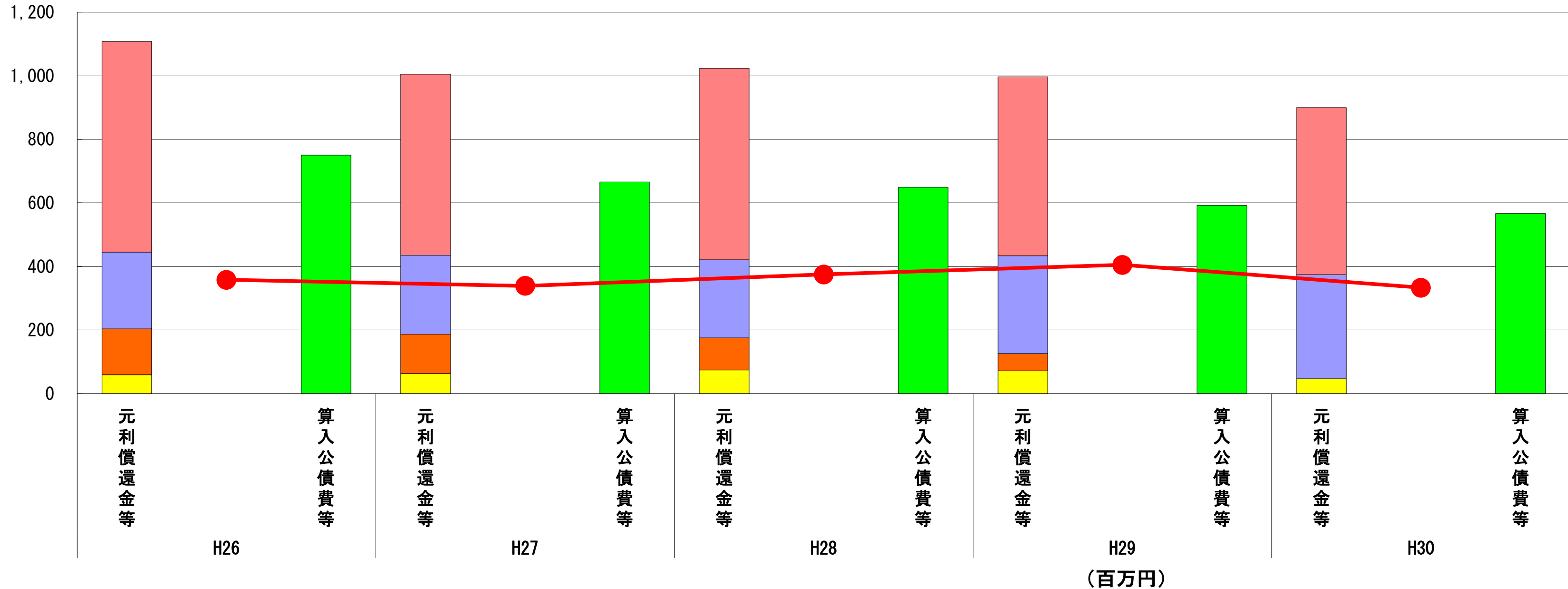
※平成31年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく連結実質赤字比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。

(9) 実質公債費比率（分子）の構造（市町村）

平成30年度

福岡県須恵町

(百万円)



分子の構造		年度	H26	H27	H28	H29	H30
元利償還金等 (A)	元利償還金		663	570	603	563	526
	減債基金積立不足算定額※2		-	-	-	-	-
	満期一括償還地方債に係る年度割相当額		-	-	-	-	-
	公営企業債の元利償還金に対する繰入金		241	248	246	308	327
	組合等が起こした地方債の元利償還金に対する負担金等		145	124	101	54	-
	債務負担行為に基づく支出額		59	63	74	72	47
	一時借入金の利子		-	-	-	-	-
算入公債費等 (B)	算入公債費等		750	666	649	592	567
(A) - (B)	実質公債費比率の分子		358	339	375	405	333

分析欄

平成30年度の実質公債費比率は、平成29年度の7.6から0.1ポイント落ち7.5となっており同水準で推移していると言える。

元利償還金については順調に減少しており、近年二箇所の幼稚園の更新、学校教育施設の耐震補強・大規模改造工事等が続き平成28年度では増加したが、平成29年度以降は再度減額となった。

ただ、公営企業債の元利償還金に対する繰入金に関しては、公共下水道事業特別会計で施設整備が計画よりも遅れており、工事費や起債償還額が増加傾向にあり、今後もその傾向が続くことが懸念され、財政圧迫の大きな要因となっている。

組合等が起こした地方債の元利償還金に対する負担金等については、額の大きかった清掃施設組合に対する分が償還終了を迎えており、負担金額が減少している。

※1 平成31年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく実質公債費比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。

(参考)

		年度	H25末	H26末	H27末	H28末	H29末
※2 減債基金積立状況等	減債基金残高 (注)		-	-	-	-	-
	減債基金積立相当額		-	-	-	-	-

分析欄

該当なし

(注) 減債基金残高のうち、実質公債費比率の算定に用いる満期一括償還地方債の償還の財源として積み立てた額に係るもののみを記入。

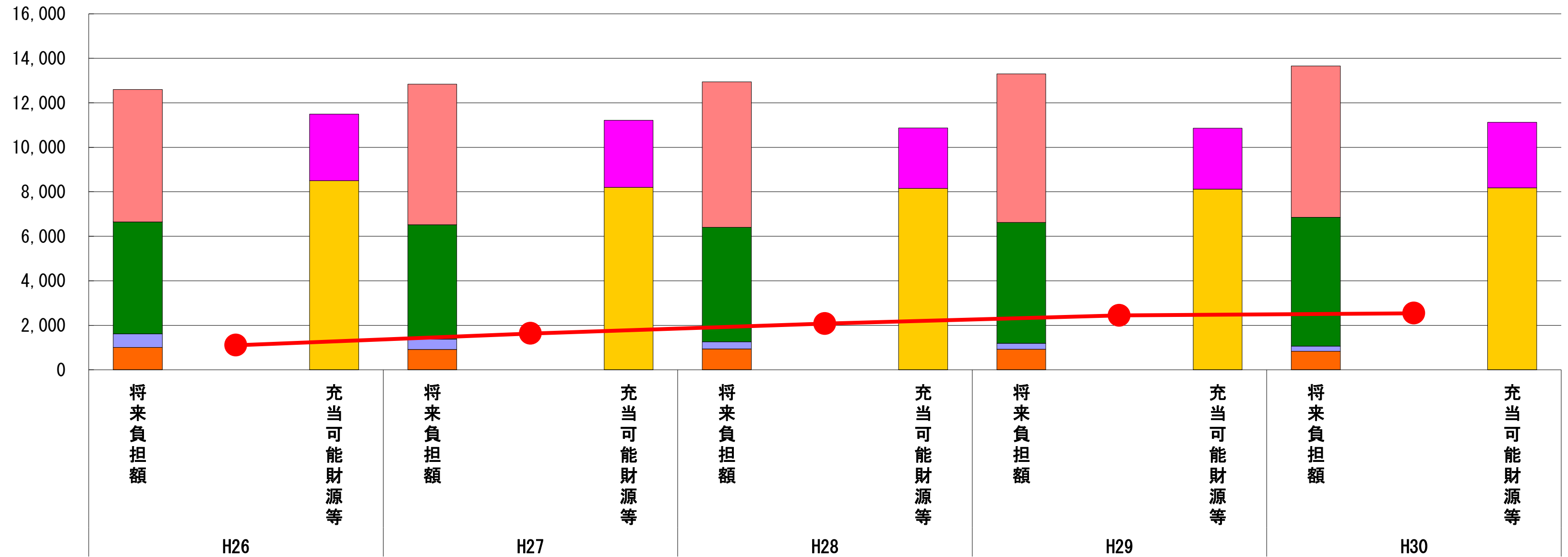
減債基金積立金の年度を超えた一般会計又は特別会計への貸付額は控除して記入。

(10) 将来負担比率（分子）の構造（市町村）

平成30年度

福岡県須恵町

(百万円)



(百万円)

分子の構造		年度	H26	H27	H28	H29	H30
将来負担額 (A)	一般会計等に係る地方債の現在高		5,946	6,321	6,537	6,681	6,803
	債務負担行為に基づく支出予定額		2	-	-	-	-
	公営企業債等繰入見込額		5,029	5,152	5,152	5,430	5,791
	組合等負担等見込額		611	457	325	272	232
	退職手当負担見込額		1,006	914	931	921	835
	設立法人等の負債額等負担見込額		-	-	-	-	-
	うち、健全化法施行規則附則第三条に係る負担見込額		-	-	-	-	-
	連結実質赤字額		-	-	-	-	-
	組合等連結実質赤字額負担見込額		-	-	-	-	-
充当可能財源等 (B)	充当可能基金		2,999	3,009	2,714	2,738	2,951
	充当可能特定歳入		-	-	6	-	-
	基準財政需要額算入見込額		8,495	8,204	8,150	8,122	8,172
(A) - (B)	将来負担比率の分子		1,101	1,631	2,075	2,444	2,538

分析欄

将来負担比率が、平成29年度の49.4から平成30年度の50.9へ1.5ポイントも上昇している要因は、地方債の現在高が平成29年度と比較して122百万円増加したこと、公営企業債等繰入見込額が361百万円増加したことが主な要因である。

一般会計等に係る地方債の現在高は、近年の二箇所の幼児園更新や学校教育施設の耐震補強・大規模改造工事に伴う起債等が上昇の要因であるが、償還終了を迎える高額な地方債もあり、平成30年度では若干の増となっている。

公営企業債等繰入見込額は、公共下水道事業特別会計によるもので、管路の工事がまだ完了しておらず、今後10年以上事業が続く見込みであり、地方債の残高も年々増加傾向にあり、しばらくはこの傾向は続くと思われる。

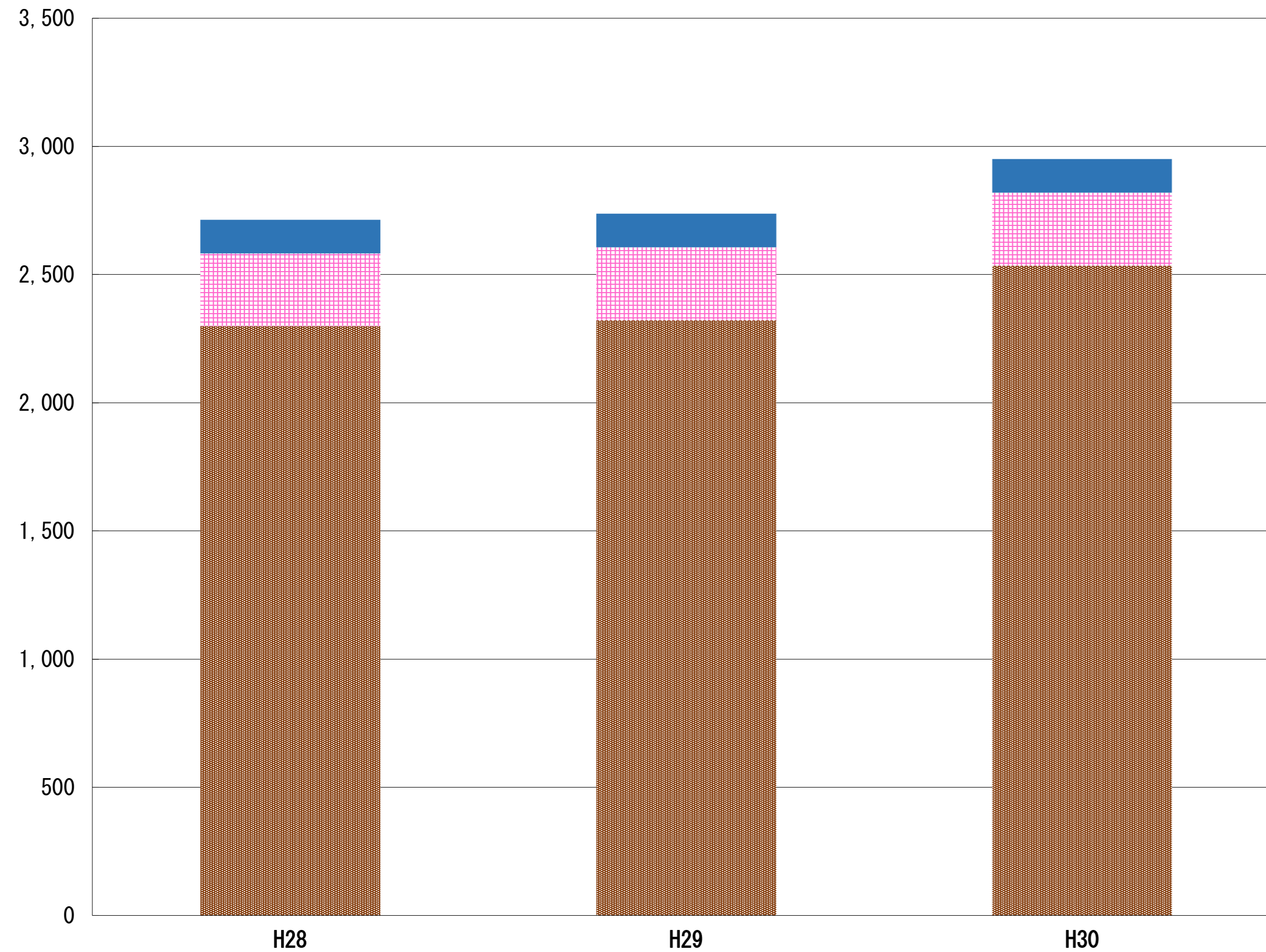
そして、充当可能財源である財政調整基金が現状を維持できるかは非常に厳しい財政状況であり、年々増加している扶助費や今後公共施設の更新等により残高の減少が予測され将来負担比率の悪化が懸念される。

年々財政的に厳しくなるが、事業の内容・必要性を個別に再検討し現在の町の規模・ニーズに見合った、最小限の財源で最大の成果を目指し、起債に依存しない財政運営に努め、現在の水準が類似団体の数値に近づくよう努める。

※平成31年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく将来負担比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。

(11) 基金残高（東日本大震災分を含む）に係る経年分析（市町村）

（百万円）



（百万円）

区分	年度	H28	H29	H30
財政調整基金		2,299	2,322	2,535
減債基金		283	284	284
その他特定目的基金		132	132	132
水道水源保全基金		112	112	112
自然教育林基金		20	20	20
基金残高合計		2,714	2,738	2,951

平成30年度

福岡県須恵町

基金全体

（増減理由）
 財政調整基金については、平成28年度にアザレア幼児園の建替えや須恵東中学校大規模改造工事など大規模な公共事業を実施したため財源の補てん分として3億円を取崩した。
 一方で、平成30年度では8年ぶりに決算剰余金として2億円を積立することができた。
 例年、臨時的な収入である不動産売り払収入や寄附金等は財政調整基金に積立をおこなっている。
 財政調整基金以外の基金については、近年取崩しはなく利息分の積み立てによる微増が続いている。

（今後の方針）
 基金の用途の明確化や今後の公共施設の更新等に備えるために、財政調整基金の残高を一定に保ちつつ、公共施設の管理を目的とした特定目的基金に積み立てしていくことを検討している。
 ふるさと応援寄附金について、今後新たに特定目的基金を創設し、全額を積み立てて必要に応じて事業に充当することを予定している。

財政調整基金

（増減理由）
 増加要因としては、不動産売払収入や寄附金等の臨時的な収入であるが、もし収入があれば原則全額を基金への積立としている。
 平成28年度に、幼児園建設や中学校大規模改造工事等の財源補てん分として3億円を一般会計へ繰入し大きく残高を下けている。
 平成30年度では8年ぶりに決算剰余金として、2億円を積立することができた。

（今後の方針）
 公共施設の改修や更新が目前に控えているため、財源補てん分としての取崩しは最小限となるよう、事業の抑制を行なっている。
 今後は、財政調整基金の残高は標準財政規模の10%を目処とするよう努め、上回る分は公共施設の整備に充てる基金として新たな基金を整備し積み立てる見込みである。

減債基金

（増減理由）
 ここ数年は、償還のための取崩しは実施しておらず、定期預金としての利息分を積み立てるのみの増加となっている。

（今後の方針）
 年々地方債の償還額は減少傾向にあり、近年中に減債基金を取り崩しての償還は計画してはいないが、突発的な償還に備え現在の残高の維持に努めることとしている。

その他特定目的基金

（基金の用途）
 水道水源保全基金：水道水源資源の保全、水道水の給水確保及び水源涵養事業などの推進を図る
 自然教育林基金：官民一体で森林機能の高揚をはかり、町土、水、緑、生活文化の保全と、美しい安らぎのある町づくりに資する

（増減理由）
 両基金とも、ここ数年は事業充当のための取崩しは実施しておらず、定期預金としての利息分を積み立てるのみであった。

（今後の方針）
 現在ある水道水源保全基金、自然教育林基金については、該当事業実施までは現在の残高を維持できるよう努める。
 ふるさと応援寄附金について、これまでは納入年度の財源として活用していたが、次年度以降は新たにふるさと応援基金を創設する。一旦全額を積立し、充当事業が確定すればその基金から取崩しを実施し財源とする。